新婦人

第八号〔十二月号〕

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電話(本)八八八(病院用)
　　　　八九八(自宅用)

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長　醫學士高田畊安

相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里
電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美人となるには

濃厚化粧液 **ラベル**

を御使になるに限ります、**ラベル**化粧液は日本で一番名高い、香の良い、美顔料です、村山藥學士は學術上より見て**ラベル**ほど完全な化粧液は他品にはないと斷言をされました。それほどに……**ラベル**は貴重な原料を配合してあります。從つて色を白くし、白粉のノリを良くし素顔を美しくして皮膚の荒を治すのは道理です。

定價

大	中	小
七拾五錢	四拾錢	貳拾五錢

ラベル石鹼發賣元

東京銀座

つやぶきん

佐々木商店

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御注文の節は『新眞婦人』の廣告に依ると御申添を乞ふ

法學博士　浮田和民先生新著

新道德論

四六判總洋布裝
定價金壹圓
送料內地小包八錢

忽五版

一代の先覺浮田博士が獨特の明快なる論法を以て在來の矛盾撈格多き舊道德を排し大正新時代に適應せる實踐的理想的自由的道德を唱道喝破せる者宜しく天下萬人の三讀翫味して規範とすべき曠世の大著述也

發兌元　東京牛込神樂坂通　振替東京一九四番　株式會社　南北社（電話番町三八〇四）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鬼の笑ッてゐる中に御支度を

日記界のレコードを破れる複式線日記は即ち是れ

複式線とはたゞの罫線の中間に、點線を設け記事の分量の多少に應じて、記事豐富の時は點線により、少き時は罫線によりて書くべきものとす。かくするときは、紙面に過不足を生ぜず、其體裁極めてよく、且特別欄を豫記、往來、信書の三ヶ欄に分ちたるを以て、一目瞭然その内容をしり得るの便宜あり。この樣式を採用せるものは「中形」

中形
(並製) 四寸×六寸 クロス表紙 定價五十錢
(特製) 四寸×六寸 金綠折革 定價壹圓拾錢
(郵税) 各八錢

大正三年日記 吾家之歴史

小形
(並製) ポケット形 クロス表紙 定價四十錢
(特製) ポケット形 金綠折革 定價壹圓
(郵税) 各六錢

小形「吾家の歴史」は毎日の欄を分ちて、爲したる事、得たる思想、往來、社會の出來事、雜事の五欄となし、誰にでも記け易く至極調法也。されば、閑の少き人、たとへば、家庭に在つて、家政に趁はれ勝ちなる主婦、花嫁方に取つては、此上なき最良の日記なり。中形も小形も、形式こそ異れ、體裁こそ違へ、紙質の善良、製本の堅牢、裝釘の優美なることは、二者共に相等しく、御愛用の人々の熟知せらるゝ處。

日本に於ける日記の元祖にして、年々聲價を増し來れるもの

發兌
東京、銀座
警醒社
振替東京五五三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人第八號目次

口繪　捨身（カルデロン筆）

古巣のあたり　小口みち子

藝妓論に就て　西川文子

兒童に關する新しき智識　[illegible]　子

婦人自省論　島林めぐり

亡き院長を偲ぶ　座古愛子

性慾問題　高島平三郎

男女分業論　高野重三

從順の德　伊藤證信

カシタンカ　瀨沼夏葉

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

結婚問題　高橋逸子

愁　人　鹿古愛子

女人國記（二）鹿兒島の女　新眞婦人社

是？　非？　玉露女

八ツ岳農場日記（三）　吉川たみ子

ハアデング氏と語る　一記者

私の理想　有田しづ

處女の心　齋藤槇子

東西南北――新刊紹介――募集文藝

十二月一日發行

與謝野夫人作　藤島武二先生畫

詩集

外遊記念 夏より秋へ

近く歐洲旅行より歸られたる與謝野夫人は、其外遊記念として、旅中及び其前後の感懷を叙されたる短詩長詩を此六百頁の大册に編み　高華、幽婉、警拔の趣を盡せる新詩集を出されたり。

畫伯藤島武二先生は特に與謝野夫人の爲に、深大の感興を以て先生が曾遊の追憶を傾倒し、神遠遒麗なる「巴里の印象」三題、及び與謝野夫人を表象せる婦人畫一題を描いて此集を飾られ、其他集中のカット、表紙、箱帙等一切の裝畫を寄せらる。

與謝野夫人の高潮、藤島畫伯の好筆、ともに最新の思想性緒を語るに於て卓絶す、猶記念として、與謝野夫人が巴里滯遊中の筆に成るモンサウ公園、フォンテンブロウの森の二畫(油繪)三色版を附錄とせり。

三色版挿畫四葉×頁着色カット每二度刷○表紙箱帙の裝畫何れも多彩優麗を極む、附錄與謝野夫人の自畫油繪(三色版)二葉

定價壹圓八拾錢
小包料金八錢

森鷗外博士序
上田敏博士序
與謝野晶子著
中澤弘光彩畫

新譯源氏物語

上卷、中卷
下卷、二册
定價一册
貳圓五拾錢

上田敏博士序
與謝野晶子著
藤島武二裝釘
中澤弘光彩畫

春泥集

箱入美本
金壹圓

發兌　東京麴町區平河町五丁目
(電話番町二〇九三番)
(振替東京三八一七番)
金尾文淵堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海老澤亮著
歴史
定價壹圓五拾錢　郵税拾貳錢

佐藤廣吉著
平和の福音
定價四拾錢　郵税六錢

根本正譯
歐米女子立身傳
定價四拾錢　郵税六錢

博文館編
小女訓
定價三拾五錢　郵税四錢

根本正譯
日々の力
定價(並)貳拾五錢　郵税四錢

掘口翠巒著
家庭清話
定價貳拾五錢　郵税四錢

▲クリスマス、プレゼント澤山、文房具一切取揃へ有之候

東京市京橋區銀座四丁目一番地

教文館

振替東京一一三五七　電話京橋二五二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

實用新案願
第一八九三五號

衛生改良 羽衣股引ハ

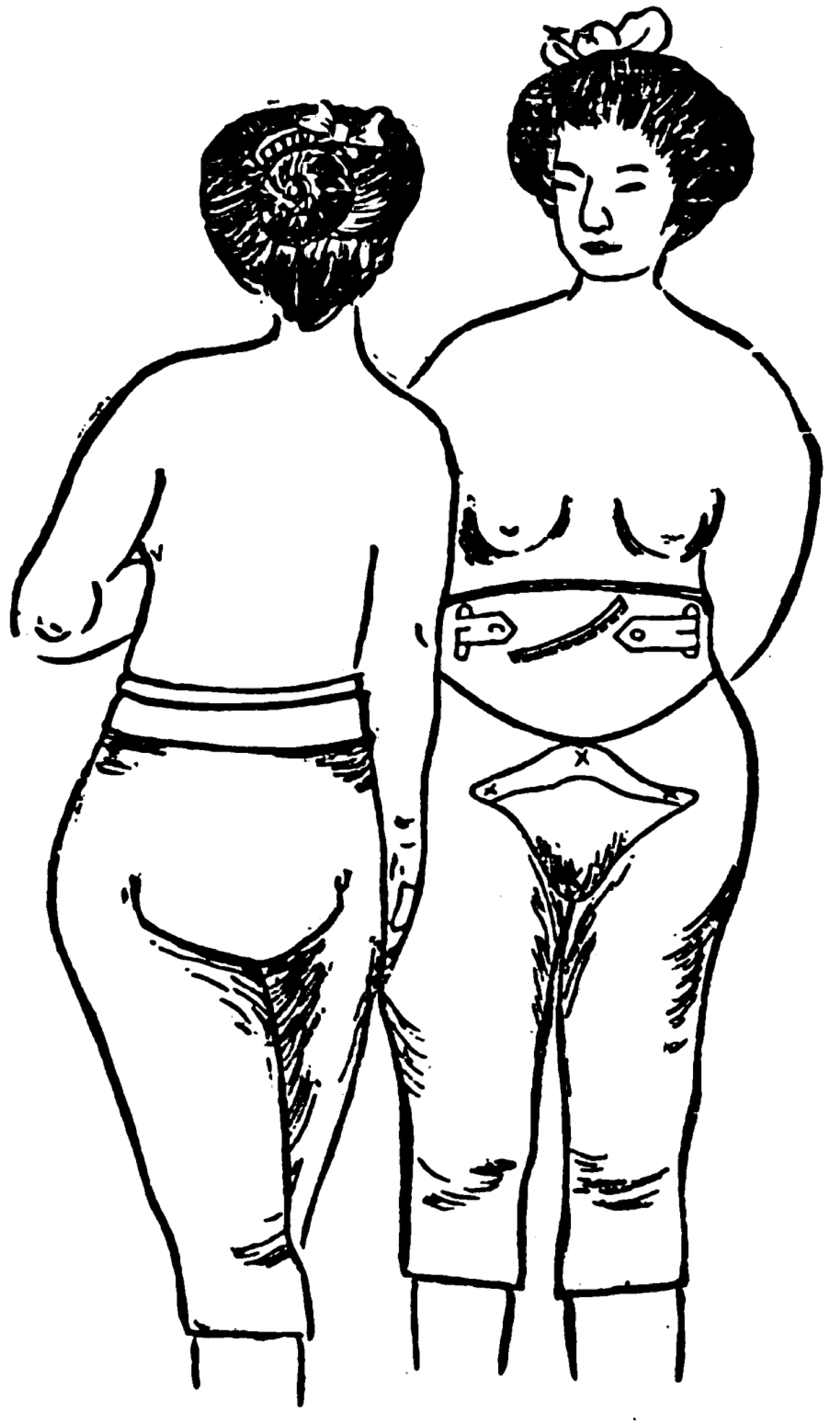
専ラ女學生事務員方ノ衛生防寒用トシテ從來ノモノヲ改良シ殊ニ月經押兼備開閉自在ナルヲ以テ好評アリ

メリヤス製

並 金七拾五錢
上 金壹圓

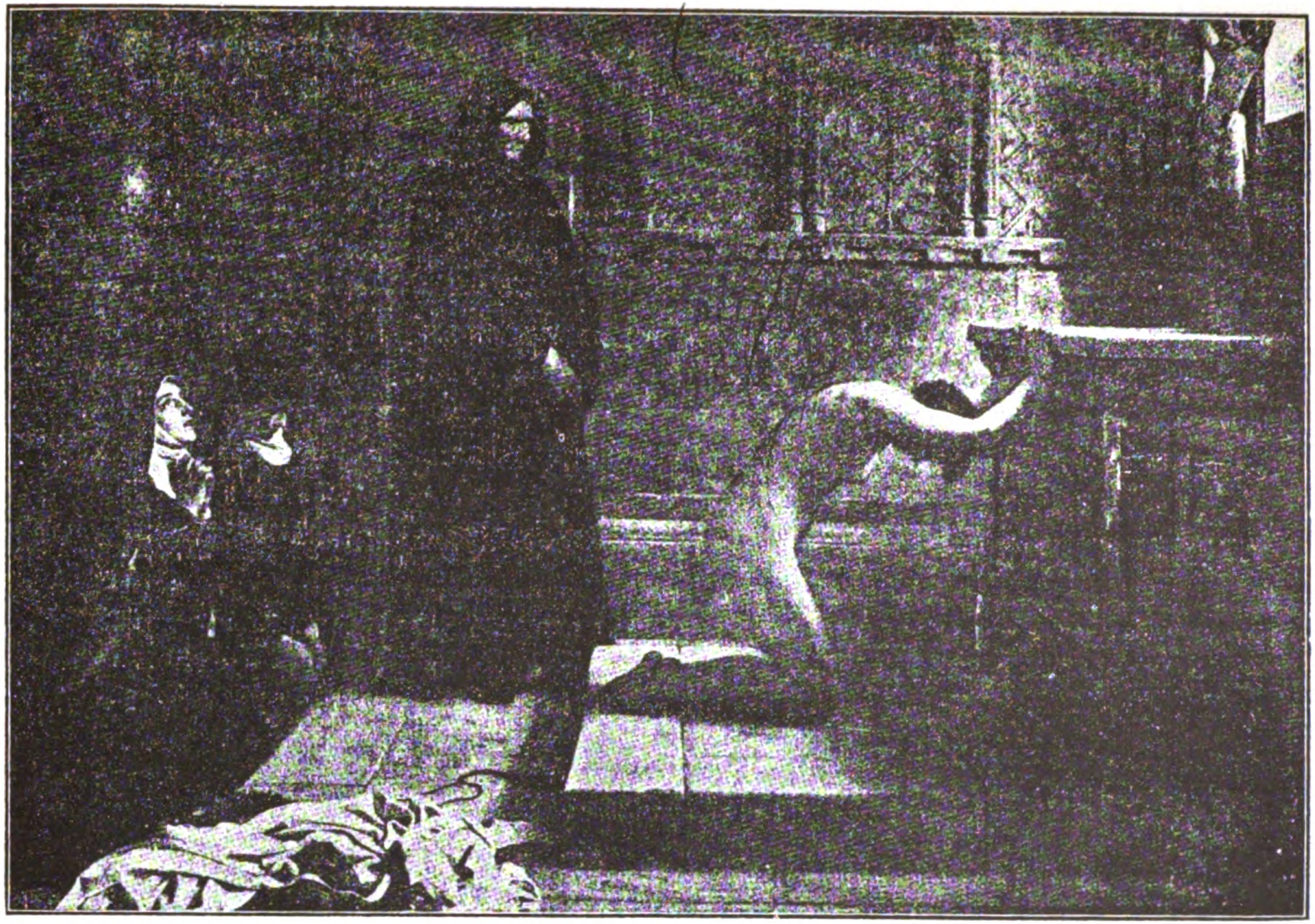
實用新案願
第壹七貳九〇號
第壹七四七四號
第壹八九三五號

衛生防水
羽衣おしめ押
羽衣おしめ覆
羽衣猿股
羽衣股引



製造發賣元
南部商會
東京市小石川區大塚窪町六番地（車庫前）

捨身



（カルデロン筆）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

口繪の説明

是は中世に於ける匈牙利の聖エリザベスの事を題材として筆者がとつたものです、千八百九十一年ローヤール、アカデミーにかゝげられたのですが其時の畫題は『匈牙利の聖エリザベスの偉大なる捨身の行爲』といふのでした。説明としては最初の聖エリザベス傳著者デトリッチの記いた出來事の大要が出てゐました、其後此デトリッチの著書をもとゝしてチャーレス、キングスレーが『聖者の悲劇』と題しこの聖王女の物語――その純潔と獻身と愛とを書きました、畫家の描いた此出來事に就いてデトリッチはかう説明してゐます、

我等人間の爲に裸體のまゝ十字架に懸つた救主を紀念するために金曜日の聖日各會堂では祭壇の帳を開いた、エリザベスは其時とある會堂に入つて、マスターコンラッドと幾人かのフランシスカン、ブラザーとの前で祭壇に淨き手をかけながら、兩親を捨て、子等を捨て、親戚を捨てすべての飾をみな捨てて救主にならつた、赤裸々のキリストに從ひ貧困に處するために彼女自身が又全く赤裸々となつた。

勿論キングスレーもその劇に此所を大に脚色したのです、第四幕目會堂の場がこの光景をあらはして人の胸を刺す樣です。エリザベスは羅馬法王の使者、マーボルグのコンラッドの感化を受け偉大なる捨身をするのに次の樣なはげしい言を用ひました

誓つて一たびわが愛したる世のあらゆる善き物も富も今はかすとばかりぞかぞふる、
わがみごもりしいとし子も他人の子とうちまもる、　神こそわが證なれ、
我とわが身を侮るぞわが誇なる、　わが樂しみはたゞ世のあなどり、
憎みそしりぞよ　何の創造者も我は愛せず、たゞ神ひとりを、
オゝ斷ちぬ斷ちぬすべての物と斷ちぬ　たゞわが主とのみ！
視よ今、我は世につけろすべての助を自ら脱ぐ――(衣を脱ぎ捨つ)裸すあしに何處までもわが裸の主にぞ從ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本店　日本橋呉服町

堀江町支店　日本橋堀江町

本郷支店　本郷三丁目

赤坂支店　赤坂田町

株式會社 **東海銀行**

本所支店　本所龜澤町

京橋支店　京橋尾張町

三田支店　芝三田二丁目

淺草支店　淺草並木町

評判のさくら炭團

大賣り出し

火保ち木炭の三倍あるドライ炭の粉にて精製せし炭團なり。

拾五時間火保ち保險

舊來の炭團とは

銀と鉛の相違

此際市内無料配達

一箱(三百四十個入)金九十錢

神田區鎌倉河岸

エツケー商會

電、本、一六三八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麴町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

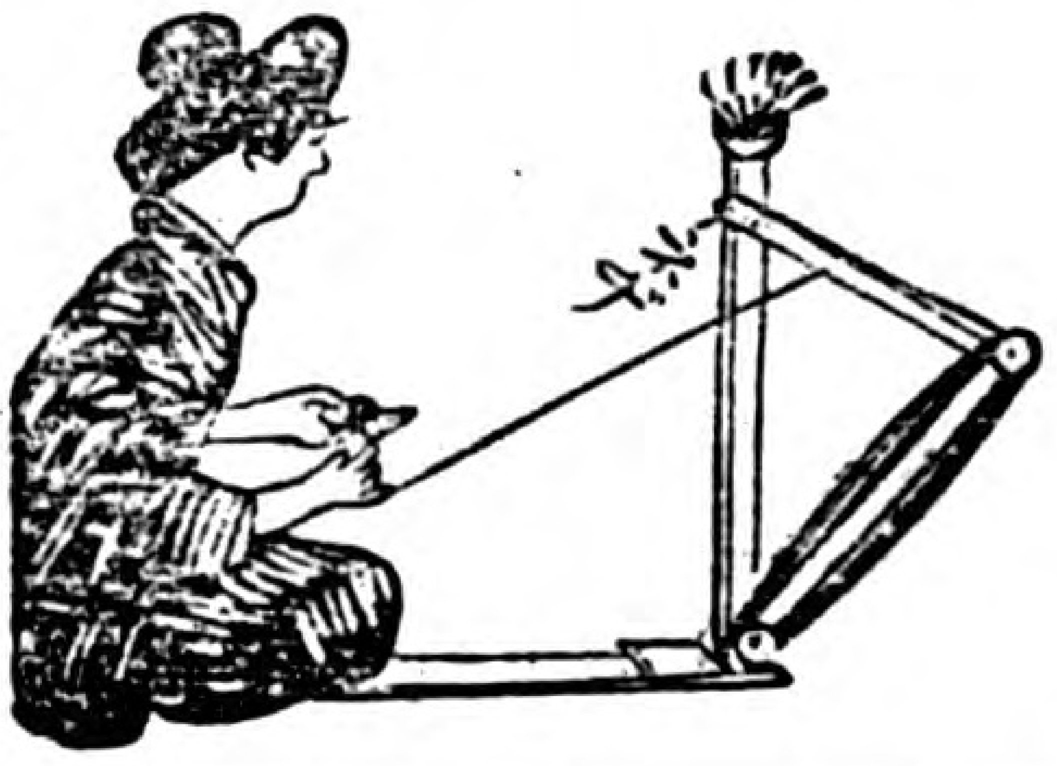
（電話番町二二五七番）

◎御婦人方の新福音

特許
竹中式**絲掛附絎臺**

使用法

右絲掛附絎臺は下圖の如く下部にある二個の糸掛車を糸の輪の長短に依りて「ネジ」鋲を以て自由に「シメ」糸口を中央にある輪に通して糸巻に巻く時は二個の糸掛車は自由に廻轉して他人のお手を煩はさず糸の亂れるが如き心配なく單獨にて容易に糸巻に巻くことを得て輕便此上もありません是非御使用を願ひます



定價

本朱塗製 金七拾錢（美麗箱入）
御誂黒塗製 金六拾錢（同）
特製 金參拾錢（同）
上製 金貳拾五錢（同）
並製 金貳拾錢（同）

○市內は壹本にても御一報次第無料配達可仕地方は金拾貳錢申受候

製造發賣元 東京市青山 竹中商店
電話芝二千八百八十四番
振替口座東京三三二三番

◉特約販賣お望の方は至急御來談あれ

早稻田大學講師

相馬御風譯

近世文學第一・二編

トルストイ作

アンナ・カレニナ

總洋布製全二冊紙數千四百餘頁上下各壹圓五拾錢
特價各金壹圓廿五錢郵稅各拾二錢

近代文學の最大傑作!!

近代生活の最大福音!!

歐洲近代文學の最も偉大なる傑作は何ぞと問はれて誰かよく第一に指を此書に屈せざらんダンテの『神曲』ゲーテの『ファウスト』沙翁の『ハムレット』等と並んで世界文學の最も光榮ある地位を占むべき近代の作品は正に此の『アンナ・カレニナ』の一篇たらずんばあるべからず、此書を讀まずして近代文學を語る者は土臺なくして家を建てんとする者と異ならずと近代文學の精華とする近代精神の根柢を求むる者は先づ此の書を味讀せざるべからず●本書は流麗の全譯也不完全の抄譯と同視する勿れ

近刊

●フローベル ボワリー夫人 中村星湖譯
●ゴーリキー 其三人 吉江孤雁譯
●ゾラ 生の悦 中島孤島譯

發行所 東京牛込早稻田(振替一一三二) 早稻田大學出版部

賣捌 神田東京堂 日本橋至誠堂 京橋北隆館 大阪盛文館 其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

燈火中の顏

新眞婦人　第八號

古巣のあたり

小口みち子

木枯はなきて吹くかな南天と、柿の赤きを盗人と云ひ
冬知らぬ國に行きたし女の頰、赤紫を見るが佗しき
秋の雨喪家の狗は病みやせむ、命可愛や山茶花ちらむ
男みなわざをぎなるかな千萬年、人形遣ひてあく事知らず
戀といふ羹わらひ強ひたまう、厭しまゐらすふたゝび三たび
君を待つ招くすゝきと紫のききやうと菊の咲けるが影に
行く水よ海に見えて此岸に、我れ泣きにきと物語りせよ
たてまつる命の贄にあき足らぬ、我れを悲しむ涙となりぬ（夫に）
逝きし子に母はをとめと人妻の、古巣のあたりさまよひて居ぬ、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

藝妓論に就て

西川文子

一

近來藝妓問題が廓清會初めあちこちで論せらるゝ樣になりました、單に婦人問題と云へばジミで眞面目で興味を引かないが、藝妓問題などと云ふと華やかで面白い爲めに盛になる樣である、けれどもこれは至極枝葉の問題であつて、婦人問題の一小部分に過ぎぬ、從つて婦人問題が解決されぬ以上、到底徹底的に解決される見込みがありません。

二

私は嘗て起つた廢娼運動を例に引いて此の事を少しく述べやうと思ひます。

明治の初年に娼妓の如き人身賣買は、人權問題であると云ふので、公娼を全部廢止された事がある、所が却つて其結果密婬賣が増加し、風敎に害があつたので又場所を限りて公娼が設けらるゝ事となりました。

又其後明治三十年頃に、日本に長く來て居られた米國宣敎師モルフキー氏は、藝娼妓、權妻などの眞相を深く研究して、社會改良をし、一夫一婦の高潔なる風習にする爲めに努力して、名古屋で一娼婦を助け、自由廢業の訴訟を起し、遂に其判決例を作られた。これが導火線となつて、東京で又々人權問題だと叫ばるるに至り、救世軍、矯風會、各諸新聞が立つて自由廢業の爲めに血の雨をふらすに至つた。

其の主張として、樓主と娼妓との關係を説き、兩者は主從の關係ではない、昔ならば借金の方へ勞働を強いられ、束縛され、人質にまでされたものであるが、人權を重んずる今日、娼妓は奴隷でない、前借金は裁縫して返さうと何んな勞働をして得た金で返してもよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いので、どうしても娼妓をして義務を果さねばならぬと云ふ理由のものではない、と云ふのである。又矯風會にては廢業さすのみを目的とせず、正業につかしむる爲めに、府下大久保に慈愛館を建て丶救濟の實を擧ぐるに努めました。

されば法律から云つても自由廢業は出來ることになり、又廢業後身の振り方を付ける方法も立派に立つに至りましたのですが、外部より權利義務で廢業してもよいとすゝめられて廢業したものの多くは、眞に娼妓自ら其の賤業たるを自覺して廢業するに至つたのとは違ふから、自然前借金を踏み倒して又他の樓主に身を賣ると云ふ樣な結果となるに至りました。

藝妓廢止も結構であるが、藝妓自からの覺醒によらずしての廢止ならば、娼妓の自由廢業と同じ樣なことになりはせぬかと、思はれます。

であるから、娼妓廢止も、藝妓廢止も、根本的な婦人問題から出發せねば勞して功なしだと思ひます、根本的な婦人問題より出發するには先づ

男子の婦人に對する思想を高尙ならしむる事

から始めねばならぬと思ひます。

今日男子の婦人に對する思想は尙ほ甚だ低いものである。眞面目な一靑年宗教家がどうしても婦人は男子の玩弄物としか思へないと告白されたが、露骨に云ふか云はないかの相違あれど之れは確かに一部の男子の思想を表現したものであると見て差支へないと思ひます。又此男子は藝娼妓の中からでなくしては眞に相手にする婦人らしき婦人は見出せないと、主張して居らるゝのです。此の言も或一部の男子の思想と見てよろしいと思ひます。

男子の一部に斯かる思想のあるのは、一は今日迄の女子教育者の責任でないでしようか、彼等の型にははめ過ぎて教育した結果、人形の樣な婦人が多くなつた。それに反し藝妓などの方が自由である丈け、個性が發揮されて居る爲め、奇麗な人形より、我儘でも生きた人間の方がよい處から、かやうな事を考へる男子があるに至つたのでないでしようか、然し生き

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生きして居ると云ふ丈けが最上ではない、最上は自覺した立派な生々とした婦人でなくてはならぬ。

次に

婦人の男子に對する思想を高尚にする事

が大切であると思ひます。

今日の婦人が男子に對する思想も至つて低い、自己の理想、希望、確固たる意見と云ふものはない、たゞ男子は生活を支へて呉れるものだ位に思つてゐる婦人が多いのです。

或知人の妻君は、夫が失業して、上京して職業を求めて居る間、國許に預けられて居ましたが、三ケ月ならざるに離縁を請求して來ました、夫なる男子は七ケ年も共に居つた妻が、僅か三ケ月にして、斯く變心するに至ると云ふとは、薄情も甚しいと甚く憤慨して歸られました。

然し私は、周圍のすゝめによつて結婚した婦人が又周圍に迫られて離縁するのは當然な事だと思ふ、この夫たる人も常には婦人に盲從を望んで居つたのでしやう、して見れば、夫に別れて、他の人に扶養されて居て其人々の意見に盲從するのは又不思議ではない、私は氣の毒だが自業自得だと云ふ感がいたします。

然し又、私はこゝに其の婦人に眞に同情すべき理解を持つて居る、それは結婚の根本問題たるべき戀愛がなかつた爲めの悲劇でないでしようか。エレン・ケイの說を聞くまでもなく、戀愛なき結婚は不道德である。少なくとも不道德に終る事を私は確信して居ます。平穩無事な時はよいとしても一朝事ある場合にはこんな事に成り易いのである要するに貞女となるも不貞女となるも、別人ではない、只だその人の心底に愛情がある場合と無い場合とで違ふのです。よく素人には却つて不貞女があるが、苦勞人藝妓などの中に貞女があると云ふ事を云ふ人があるが、それも藝妓等には撰擇の自由があり、眞の戀愛があるからでしよう。元より職業だと思うて結婚して居る婦人が職業にならなかつたら離縁するのはこれも不思

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

議な事はないのです。

然し又考へて見ると、自覺した婦人はこんな我まゝな冷酷な事はしない、例令夫が惡く周圍が不如意であつても、自己の力で改善する、運命を開拓する自信がなくてはならぬ、考へても御覽なさい、冷酷なる法律でさへ、一二ケ年も扶養の義務を怠つた場合か、二ケ年以上重懲役になつた場合でなくては、離緣を請求する理由とならぬとしてあるではないか、僅か三ケ月それも夫は一生懸命就職の道を求めつつあるのに其苦勞も察せず、不幸な時につけ込んで離緣を請求するなどと云ふ事は、七ケ年倶に居つた夫婦でない、他人でも敢て出來る事ではない、男子を理解して居ないのも甚だしい、生活難の今日人格ある男子にも必ず生活の保證がついて居るとは限らない、時と場合によつては失業する事もあるのです。

又先日の新聞紙に報じてあつた如く、雜誌の寫眞記者に欺かれて墮落した女學生が多數あつたのですが、こんなのも男子の罪はもとよりであるが、それ位の事で欺かれる程の弱い意志の婦人を養成して居たと云ふ事は女子敎育家の恥辱ではありますまいか。

藝妓廢止も結構であるが、先づこんな婦人がなくならなくては、どうも解決はつかない、と思ひます。

三

終りに差當り藝妓に對する處置としては、かの娼婦が一定の區域以外に出られぬ如く、藝妓も待合とか茶屋とかへしか出入出來ない樣にして欲しい、昔の白拍子、舞姫などと云つた時代の如く、品位あり、眞に藝を以つて立つて居るものならば、それは貴婦人であるから如何なる場所へ出ても差支へありませんが、今日では、醜業婦々々々と云はれて居る、又事實さうであるものを、眞面目でなくてはならぬ公會の席などへは出さない樣にしたいと思ひます。

先日も上野で大正博の上棟式が行はれましたが、其の時餘興として、東京花柳界の粹を拔いた、八百の美妓が手古舞をしたり、赤だすきをかけ『祝大正博上棟式』と書いた前垂をして、色彩の濃厚な目立つ風采で大人數の中をあちこちしたり、高位高官宮

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

殿下迄も御出席になる席に出るなどは、醜業婦としては、けしからぬ事ではないか。又四ッ谷見付の新橋や日本橋等の開通式に藝妓の手古舞をさせ、異様な風彩をしてぞろ〳〵歩かしたが、良民に悪い刺撃を與へたではないか、何せ何でもヂキに風俗壊亂々々と發賣禁止をする内務省や、警視廳が默つてこんな事をさせておくのでしやうか、又世には見識ある人も多からうに何せこの事を喧しく云はないのでしやうか。

若しも斯かる場合に婦人がなくては淋しいと云ふのならば、夫も父も出るのですから諸名士の令孃令夫人が出ればよいぢやありませんか。其他普通の婦人が盛に出ればよいぢやありませんか。普通の婦人は藝がないと云ふ人があるかも知れないが、學校でも踊や、遊戯を敎へ、市中にも何百何千もある踊、琴、三味線、生花、茶の湯の師匠がまさか遊んで居ると云ふわけでもなからうから、奥さんも令孃も皆な、何かの藝人なのです、又か丶る場合藝妓だからとて、別に大した藝を要するワケでないから、皆な無邪氣に、小供の男女が遊ぶ如く、活潑にして社會的に男女を接觸さす事にすれば、互に理解する機會をつくり得てよからうと思ひます。

たゞ消極的にかくして居る事、かくれて居るのを奥床しい事として奨勵するのは、實に惜しい事で、寳の持腐れであると思ひます。

又地方へ名士の旅行さる丶場合などに、よく其の人を何々の女將の出迎へたなどと新聞に現はれるが、それを恥辱とせず、寧ろ名譽とする如き傾あるは、これも改ためたい事だと思ひます。

何時か與謝野晶子女史が、自分の小供に『母さん女將ッて何です、女にも大將があるのですか』と問はれて答へに困つた、と云はれましたが、私も全く先日上野でアチコチして居る妙な風采の女を、小供が『あれ何、何するの』と切りに申しますのには困りました。

四

要するに、私は藝娼妓の廢止は、枝葉問題である、根本の問題は男子の婦人に對する思想、婦人の男子に對する思想を高めるにあるのですと云ふ事と、差當りの問題としては、醜業婦には其の名に相應する待遇を與へ、公けの席、明るみへは出さぬ樣にして欲しいと云ふ事を述べたい爲めに、斯く申上げたのであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

兒童に關する新しき智識

露子

▲世の人の子の親たる人々の有する、兒童に關する智識の貧弱な爲めに、知らず識らずドレ丈け其の子を不幸ならしめて居るか知れませぬ、で私は、兒童に關する新しい智識をボツ／＼紹介して行こうと思ひます。

▲第一に專門家の研究で、母親の乳で育てた子の死亡率一に對し、牛乳で育てた子の死亡率十であると云ふことが知れました、母親の乳で育てぬ子は、斯く多數に死ぬのである。死ぬまでには至らぬ子でも、一生ソレが爲めに多くは虚弱者になる恐れがあると云ふことだから、世の人の子の母たる方々は、成るべく自分の子は自分の乳で育てねばなりませぬ。

▲第二に酒や煙草は、少しでも用ゐさせては不可かぬが、其他は、成るべく色々なものを食べさすがよろしいと云ふことが、之れ又專門家の研究で知れました。小供に好きなものばかり食べせさては不可けません。

▲第三に、伊太利の生理學者モソオの説によると、小供の時に叱られたり、恐れさゝれたりしたことは、丁度小供の時に其の肉體につけられた傷が一生殘る樣に一生其の精神から消へ去らぬものだと云ふことであります。ソウと聞いては、猥りに小供を叱つたり、何んかすることは出來ません。

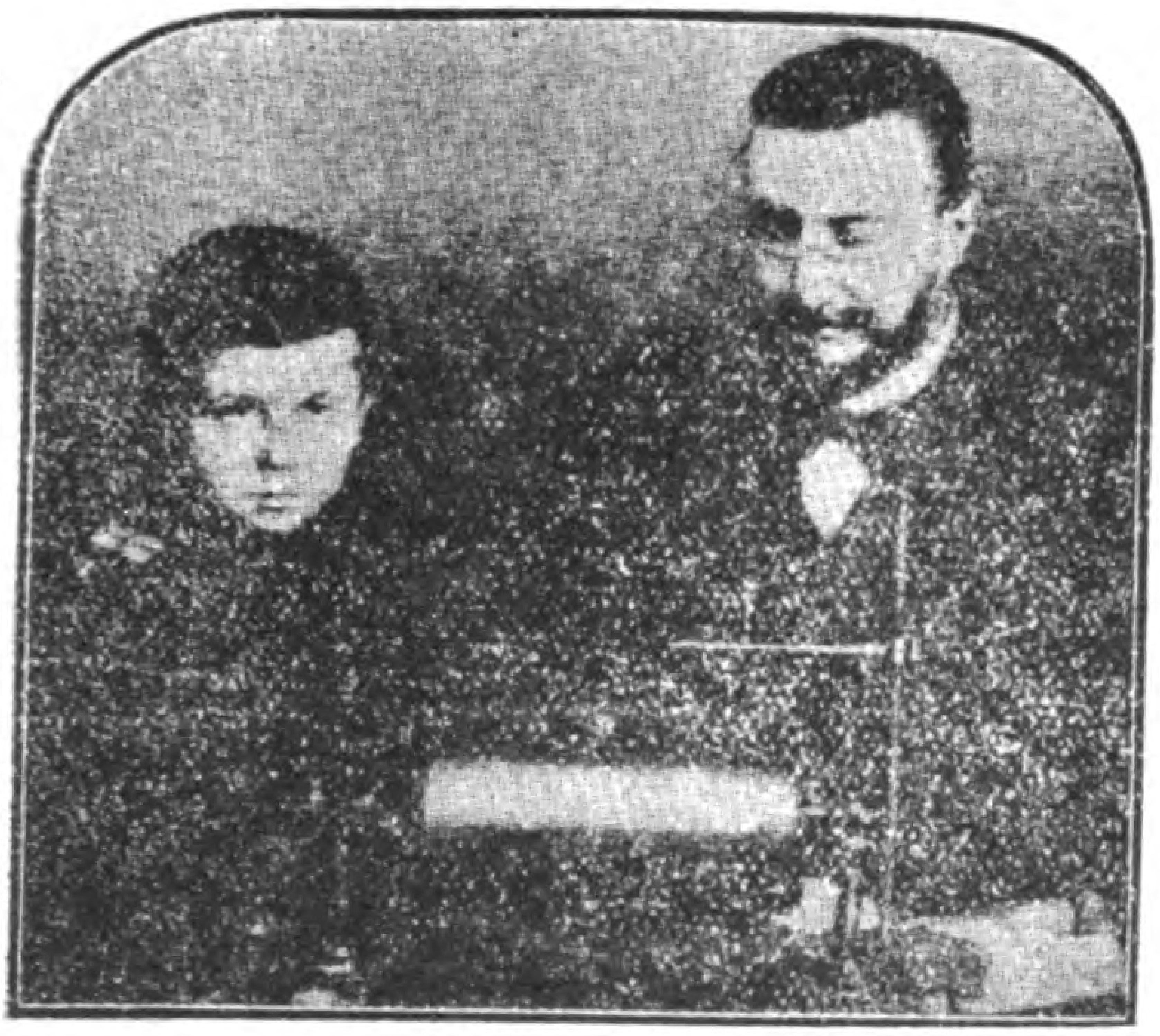
▲第四に、小供は、同年齢の小供と遊ぶのが一番嬉しいものぢやと云ふことが、之れ又專門家の研究で確かめられました、されば惡い事を見習ふからと云ふので小供を門外へ出さず、自分の家でばかり子守なぞと遊ばせて置く人々は、少し考へ直さねばなりませぬ、私の實見した所から申しましても、親が心配家で、小供を外へ出さぬ家の小供は、肉體も弱く、精神にも元氣

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

がないやうです、廐で育てた馬と野飼の馬と、其ノ元氣が違ふ樣に、小供も他の樣々の小供と遊ばせて、小供の間にもまれる樣にしないと、眞に元氣な人にはようなりませぬ。

▲第五に、佛蘭西の心理學者アルフレンド・ビンネーと云ふ人は、人の精神の發達の程度を計る機械を發明し、ソレによりて生れた日から數へての人々の年齡の外に精神の年齡を計ることを始めました。



上の寫眞版はビンネー氏が其の發明の機械で、兒童の精神の年齡を計つて居る所です、而して例へば左の寫眞の下の文字が示せる如くにして行くのです、若しかう云ふ風に調べて、學校でも級を分つことになれば完全に敎育することが出來るに至るでしよう。小供は同年輩の者と遊ぶことを好むと云ひましても、右の樣な場合、則ち肉體の年齡と精神の年齡の違ふ場合が往々ありますから、此の邊も注意せねばなりませぬ。ビンネー氏の機械を用ゆるまでもなく少し注意すると、肉體の年齡と精神の年齡の相違の甚しい人は分ります。

肉體の年齡十九歲
精神の年齡八歲

肉體の年齡十四歲
精神の年齡八歲

肉體の年齡三十八歲
精神の年齡八歲

肉體の年齡二十一歲
精神の年齡八歲

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲第六に、中學、高等學校、大學にて、性の敎育を施すべしとの議論が、今日は歐米では小學に於ても性の敎育が必要だと云ふ所まで進んで來てます。何時から間違て來たものか知らぬが、性慾を罪惡視し、劣等視し恥ずべきことと考へて居る、今の人々の考へは間違うて居る。之れも貴き美しき自然の一部分であるとの論が、歐米で喧ましくなつて來ました。私は此の點に於ての研究の進歩が、又兒童の敎育上に貢献する所多かるべきを信じて疑ひませぬ。人の子の母たる人々は此の邊の智識も求めて置かねばなりませぬ。

右は『コスモポリタン』十一月號ロバアト、ダブリユ、チヤンバー氏の論文の大意です。抄譯しつゝ間々愚見を加へたものです。

所謂囚はれぬ婦人

妻「お隣の奥さんの處の今日のお祝は金婚式なのですつてね、あれで結婚五十年目なのでせうか」

夫「いゝや——回目なのだよ」

歌（六首）

柏女

花あはれ御手洗ばちの苔水に
　ひたしわすれし白き花あはれ

心をば永遠なる君にそへしより
　みはかげろふの影となりにき

みるも夢さむるも夢のよのなかに
　父よみくにのうつゝ見せたまへ

數ならぬ身にはこゝろもなくもがな
　なに中々にあはれしるらむ

たゞ人の入るをゆるさぬ國の名を
　世はれたしとて夢とよぶなり

母の歌よみたまへりやい
　くつなどいひける人に

子めかしくなかぬからすの聲に泣く
　われにたらちれの歌うたへとや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人自省論

鳥林あぐり

嘗つて米國で開かれた女權論者の會で、もし男がなかつたら此世はもつと幸福になつて居たに違ひないと演說をした一女丈夫があるさうだか、私はその反對に女といふものがなかたら、此世はどんなに平和で幸福であるだらうと云ひたい。勿論 私は男ではない。隨つて女權制御者である譯はない。故にさういひたいと云ふのである。此頃新聞や雜誌によく取扱はれる題材の、婦人參政權問題、婦人職業問題、婦人自覺問題、廢娼問題、藝妓問題など云ふのを見てもいかに女偏のつきまとうかに驚かざるを得ない。昨日まで此偏が餘りに長く用ひられないでゐたのにくらべて或ひは喜ぶべき事かも知れぬけれど、何が又こんな樣に男偏の（そんな偏はないが）ことさらにつく問題があるだらうか それが大に女偏のつく根本の婦人問題ではあるまいか、私は女性の一人として云ふ、そんなに社會に御面倒をかけては濟まないしそれ程御厄介にならずともコツソリと內輪で 私に協議して實力實行でゆかれぬものかとちと氣の利かぬ氣がしないでもない、實に女は面倒な（あらゆる意味に於て）厄介な困つたものであるに違ひない、私は確にさう思ふ。

但し女子と小人は養ひ難しといふ孔子樣の御說を自認してゐるのではないから同志擊は待つて下さい、女としてたつ前に先、人として——とはノラの自覺以來かなり古くなつた新らしい言である、所謂現代の人はそれを第一義と云つてゐる、絕對の何とか呼んでゐる眞面目な努力だとか評してゐる、もし男對女、女對男といふ樣な具體的な實際的な問題を持ち出すと、そんな事は二義だ三義だ、十九世紀に屬する事だ、ふるい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふるゐなどと灰屋が來た樣なことを云ふ、勿論たゞ動物としての男女ならば人として一先たつのが進歩であらう向上であらう、しかし我々はそんな邊りをさまようて居るものではない、人なのはきまつてゐる、人であるから男と女とわけて細に究める必要も起つて來る否光榮を持つてゐる譯である。人だ人だと神はむかしから叫いてゐるのに自分等が深い眠りにおちてゐて其聲を聞きつけなかつたのでないか、今頃になつて女も人と騒ぐのは不見識な事だと思ふ、人でなければ眞正の女にはなれぬ、女になる前に漸く人になつた人、ならうとしてゐる人などはなほさらもつて婦人問題など眞面目に論ずる資格はない。不品行だ、利己主義だ、壓制だと今の女の非難する男は元來何が產んだのである？　何が育てたのである？　何が敎へたのである而して何が共に棲んでゐるのである？　責任は特權の裏うちである事を進んで承認しなければならない、釋迦を生み達磨を生み、基督を生んだ女性が自らひく〻する事も又甚しいではないか、蛇の目の傘の雪よりも何層倍もおもい「權威と光榮」は責任の天びん棒でかつがなければ我ものとして擔ふ事は出來ない、五月の鯉では氣が利かぬが江戸つ子式にゆかねばならぬ、祭りの喧嘩の親分の樣にすべての事を引受けて背負つて立つのは强者の態度ではないか、女はすべて生命あるものの母である、地の鹽である、和ぎのあぶらである、世に母の子でない男子があるといふ事を聞かぬ限りは我々の努力と自信は決して徒らな空なものではない、私は男の不品行に對して、利己主義に對して壓制に對して寛大であるのではない。女の責任として省みて忍ぶべしといふ消極的な議論をするものでもない、たゞ彼を攻擊する前に、見ゆるより、より深いより尊いかくれた世界に奇しきばかりの實權を握つてゐる我々女性が力を自覺しなければならぬ否實驗しなければならぬといふのである、男を非難する前に婦人室の戸を閉めきつて諸共に大に硏究しなければならぬ然り母の會を開かねばならぬ、我々は最早抽象的な哲學や宗敎や骸ばかりの道德の前にかたくなつて坐つてはゐられない、さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

めた靈を入れて置く型といふのは宇宙に一つもないのである、すべての物に同化する柔い生きて動いて育つてゆくこの生命そのものを以つて不斷の發見に收獲に(創造とはいはぬ)自我存在の意義と權威を印の如くするまでは一刻も安んじられぬ、觀念的にすべてを見其うちに生きてゐたのは一つ操られた恐ろしい程大きい日記の前のページの中の事である、今はうちに充溢した力を自覺して不言實行、身をもつて建てゝゆくよりほか眞に意義ある生活は出來ないと思ふ、突飛な議論をしなくては新らしくないといふならば、古いふる巣に甘じてとゞまる事も辭しないのである、何故ならば眞理は新らしいものではない、非常識な行動を敢てしなくては平凡といふならばよろこんでその名も受ける偉大は決して奇拔なものではないのである、一人のひとの良妻であり賢母である事がもしも婦人の使命でないといふ人があつても社會の妻とし母として(人の慰めとなり、勵ましとなり、希望となり、和ぎとなり、力の源泉となり、いこはせる胸となり、溫める翅となり甘くやさしい心を敎へ、世の美しい、裝飾となる)の彼女の才能を否定するものはないであらう。

お互に持つてゐるこの黄金を利も見ずにねかして置くのは不經濟もはなはだしい、貸し出しもすべしである、確實な事業には資本もおろすべしである、而して女に見えて來る生產物にいひしらぬ歡喜を味ひたいと思ふ。

母！母！萬物の母といふ名を我が物とする事が出來たら此上の滿足はないではないか。

惡太郎を生んだ母はそれ丈世話がやけるのである、自省論といふ題が内容に合ふかあはぬか、私は深く考へないで置く。

男の敵は女である
けれども女の敵は男ではない

「男女の生活」(海野幸德氏著)▲新思想論(大住嘯風氏著)▲落栗(同氏著)▲ニューカレドニヤ(吉川巖氏著)▲女八人(松崎天民氏著)▲アンナ・カレニヤ(相馬御風氏譯)右次號新年號で詳評致します

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

亡き院長を偲ぶ　（讃美歌第百七十四番の譜）

座古愛子

（一）

湊川原の　老ひ松も
強者共の　夢の跡
尋ね行けども　高き梢の
あいろも分かぬ　目無し鳥

（二）

ちぬの浦邊の　磯に寄る
憂き忘れ貝　拾ひてむ
沖津白波　分けて入るとも
見る目もがなと　願ひけり

（三）

世渡る道の　嶮しきに
破れ果てたる　小車の
片輪てふ身の　行き悩みしを
助け導く　君を得ぬ

（四）

探るに著き　點字により
書讀む業も　學びけり
世の生業も　神の敎へも
授け給ひし　君逝きぬ

（五）

この訓育院に　在る盲人
君が情を　忘る可き
心に寫る　その面影に
懐かしき哉　逝きし院長

　めしひとて聖書繙き探り讀む
　　點字の光りに神を見る哉

右の拙き一篇は、私立神戸訓盲院に於て、故院長左近允氏の紀念會の席上にて、盲兒の獨吟の爲にものせしもの也(十月三十日作)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

性慾問題

高島平三郎

オーギユスト・コントが人間の思想の發達を宗教の時期、哲學の時期、及び科學の時期の三期に分けたが之れは凡ての事にも行はれる大體の區別であつて、性慾問題も同樣の順序で進んで來て居るのである。最初は全く迷信を以て性慾問題を解釋して居た。昔の人は凡て一種不思議の力の現はれてる所には特種の人格ありて、之を然か爲さしめて居るのであると考へたので、自然に庶物崇拜だの、動物崇拜だの、乃至は植物崇拜だのと云ふ樣な自然宗教が成立するに至つた。コウ云ふ程度の人間には、生殖作用は元より大に不思議の感を與ふるものの一つであつたので、ソコで生殖器崇拜と云ふことも起るに至つた。男子の生殖器は一種特別の人格を附して之れを崇拜するに至つた。獨逸の或學者の說によれば、エデンの花園は女子の生殖器を象徵化したものぢやと云ふことである。各民族の間に陰陽の神などのあるのも、皆な生殖器崇拜の系統に屬せるものだと說く人もある。其後超物理的の思想が發達してからは、單に生殖器を崇拜するのみならず、之れに種々の說を加へて、各民族の間に誕誕不稽の解釋說が行はるゝに至つた。例へば受胎の瞬間に靈魂が宿るのであるとか、或は個人の靈魂が死しての後も存在して居て、輪囘作用で受胎の際に這入るのであるとか云ふ樣な種々の說を之れに附加するに至つた、之れと關連して男を生んだり、女を生んだりすることに就ても空想に基いて種々の說が現はるゝに至つた。此の時代に於ては、社會の秩序を保つ上から生殖に關することを明らさまに口にしたり、筆にしたりすることを、禁ずる必要が生じて來たので、非常に喧ましく夫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れを誡めるに至つた、之れ畢竟人間の精神の發達がまだ充分でない爲めに、ヤヽもすれば强烈なる性慾の刺激に動かされ、社會の秩序を紊し、其の身をも亡ぼすに至るものが多いので、其の爲め自然に性慾の事を口にし筆にするのを社會の制裁として嚴格に取締るに至り、ソレから又性慾のことを說くのを恥とするにも至り、或は道德上の罪惡の如く考ふるにも至つたのである。

然かるに科學の時代が來て、有らゆる方面のことを科學の光明に照らして研究し、迷信及び超物理的の面衣を外づして見るに至るや、性慾のことの如きも、自然科學の範疇の中に入れて研究さるゝに至つた、例へば卵子も精子も共に單細胞が働きて、受胎現象を現はすのであると云ふ說の如きは、僅かに一世紀に滿たざる程に、近かき過去に於て明らかにせられた研究である。

科學は一面には人の好奇心を滿足させ、因果の關係を知りたいと云ふ慾望を滿足させ、又人の智識に系統を與へるものであるから、神秘として手を付けずにあつた所は、殊に興味を以て研究さるゝに至つた。

又此の程度まで人間が進むのには、其他の方面に於ても歷史的に種々の變化をして來て、今まで抑壓されて居た所の個人の價値を認め其の自由を認めることも盛んとなり、從て感情を重ずる樣になつて來た。ソコで今までは社會の形式的規則や因習的道德に壓迫されて小さくなつて居た自由も感情も認められて來た餘波として、性慾のことなどにも注意し、一面には之れを研究すると同時に、他の方面には其の自由を欲するにも至つた、ゾラやモオパサンの樣な自然派の文藝は、畢竟此等の傾向の一面を代表して居るものと見てよいのである。

尚ほ一つ現今に至つて性慾研究の盛んとなるに至りし原因は、社會問題、殊に人口問題である。マルサス以來人口問題は人の注目する所となつて來たが、併しソレはマルサスの論じた如く、食物が數學級數で增ゑるにも係はらず、人口は幾何級數で增ゑる、其の人口

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の增加を憂へる所からの注目で、如何にして此等のものに適當な生活を爲さしむべきかゞ問題であつたが、之れに反して現在に於ては、何れの邦國に於ても漸次人口が減少すると云ふのが一大問題となり、如何にして之れを救ふかと云ふことを研究するに至つたのである、而して其の研究の結果として人口減少の原因中の重なるものは、避姙、墮胎等凡て小供の繁殖を厭ふことからする所爲であると云ふことが分つた、人々が斯かる事を爲すに至つたのは云ふまでもなく生活難と云ふ大なる社會的壓迫である。

茲に於てか、國民を治めて行く當路者も、國民の前途を憂ふる警世家も、何卒して人口增加率の減少を防ぎたきものと苦心し、其の事から性慾問題に觸るゝに至つたが、個人は又如何にして自然の性慾に滿足を與へつゝ、而も生活難に落ち入る最大原因たる小供を生ますに行かうかと云ふ點から、之れも性慾問題の研究を爲すに至つたのである。

以上の三大條件が現代に於て性慾の問題を盛んならしめた原因であると思ふが、其他に科學が進み出版が自由になるに從ひ、色々な著書が盛んに民間に頒布さるゝに至り、ソレと共に人の好奇心及び弱點に乘じて此等の書物を賣つて利を博せんとするものも著しく增えて來た、彼等は法律の眼を潜りてさへも國内は勿論、國外へも斯種の書を頒布するに至つたのである。

其他一般に奢侈の增長、都會生活の强度の刺激、殊に妙齡男女の虚榮的裝飾等の事は、皆な人の性慾を徵發する助けとなつて、斯くの如く盛んに性慾問題を論するに至つたのである。されば今日世人が性慾の事に深く注意するに至りしを、必らずしも道德が頹廢して淫靡の風が盛んになつて來た爲と見るべきではない。或は自己の存立上、或は國民の存立上必要に迫まられて起れることもあらうし、或は又直ちに科學的の好奇心から起つて居るものもあらう、必らずしも惡しき動機からとのみ云ふことが出來ない。勿論其の中には舊き感情や因習道德の權威がなくなりしに乘じて、動物的慾望を恣にせんとしての傾向からのも存在するで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

丁抹　カリン・ミヒアエリス作

驚嘆的小說

エルジ・リンドネル

新刊既成

佐藤緑葉氏譯・小林徳三郎氏畫

新らしき婦人問題の提供

カリン・ミヒアエリスは丁抹の女流作家なり。瑞典のエレン・ケイ女史が戀愛の自由、個人生活の完成を叫び、眞向より人生に命令せんとするに對し、カリンは小説により婦人の内部生命を語り、其根本に横る秘密を暴露せり。著者曩に『危險なる年齡』を著はして歐洲の讀書界を沸騰せしめたるが、本書は更に大膽に、一層深刻に婦人を解剖して、餘す處なく其眞相を發表せり、本書はカリンが新らしき婦人問題に下したる鐵案なり、何人も本書を讀まば、得る處多く、敎へらるゝ處多く、又考へさせらるゝ處多かるべし。

赤裸々なる内生活の告白

四六版クロース美装函入＝＝定價八拾錢郵税八錢

大好評

離婚せる四十女の

思ひ切つた告白

第五版

優美裝幀函入三百卅頁・定價八十錢送料八錢

本書は曩に「危險なる年齡」と題して丁抹に於て出版せられ大膽なる現實暴露なりとて歐米の讀書界を驚倒せしめたるもの。著者カリン・ミヒアエリス女史。小野秀雄氏譯なり。卷頭黑岩周六氏の四十頁に亘る大論文を掲ぐ。　上記リントネル共に此忌憚なき告白を見らるれよ。

發行所　東京神田松下町一〇　振替東京四一八四番　以文館

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

歐米新着瓦斯ストーブ

新着瓦斯ストーブは歐米各國に於て瓦斯器具製造に最優絶の稱ある工場にて製作せられ洋館建日本建家屋何れにも適し特に日本趣味を有して其の體裁を單に實用に止まらず室内裝飾品として頗る美觀を添ふるものなり大小種々陳列致居候間續々御來臨御買求願上候

東京市神田區錦町三丁目

東京瓦斯株式會社

本社陳列所

電話本局 一三 自四〇五〇 至四〇五八

定價四五圓より百圓内外迄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正之日本

拾貳月號

▶毎月一回……一日發行
▶壹部十二錢……郵税壹錢

▶半ヶ年分……六十五錢
▶壹ヶ年分……壹圓廿錢
郵券代用 壹割増

見刮目シテ見

本誌ハ廣汎ナル觀察ト研究トヨリ成レル現代第一ノ雜誌ナレバ剛健ナル青年諸君ハ宜シク必讀スベシ……………………

論壇

▲加洲日本人問題……法學博士 添田壽一
▲國防問題は歴史的に研究すべし……陸軍大佐 神谷忠雄
▲露國の海軍……海軍少佐 山本米太郎
▲世界に於ける日本の地位……衆議院議員 鈴木乙兎
▲支那問題……松田源治
▲岡本東光翁と東洋策……中野二郎
葛生東介

縱横録

▲貧民窟……六々山人
▲政治上の現實暴露……水口正一
▲笑……木公外史
▲銅像建築に關する私見……久留天豪
▲關西青年政治家月旦……社内稻華
▲虚榮？姪奔？女優森律子……東魚水迷
▲社會主義者と禪理主義者とを論す……六々山人

▲青年と選擧……社説
▲青年と政治運動……社説

植民欄

▲南洋諸島の實狀(三)……海軍少佐 下村忠助
▲巴奈馬共和國富源 附在留我臣民の現狀……大日本國防義會
▲合衆國殖民地産物……チャーレスモソース

△史談▽
▲鐵木兒小傳……生田目旭東

△修養▽
▲克己修養談(四)……東亞女學校長 田中舍身

▲□話の話□
◎詩◎
▲桱……巽人

▲地方遊説▼
▲函館支部……郡山支部發會式……北海道青森遊說記

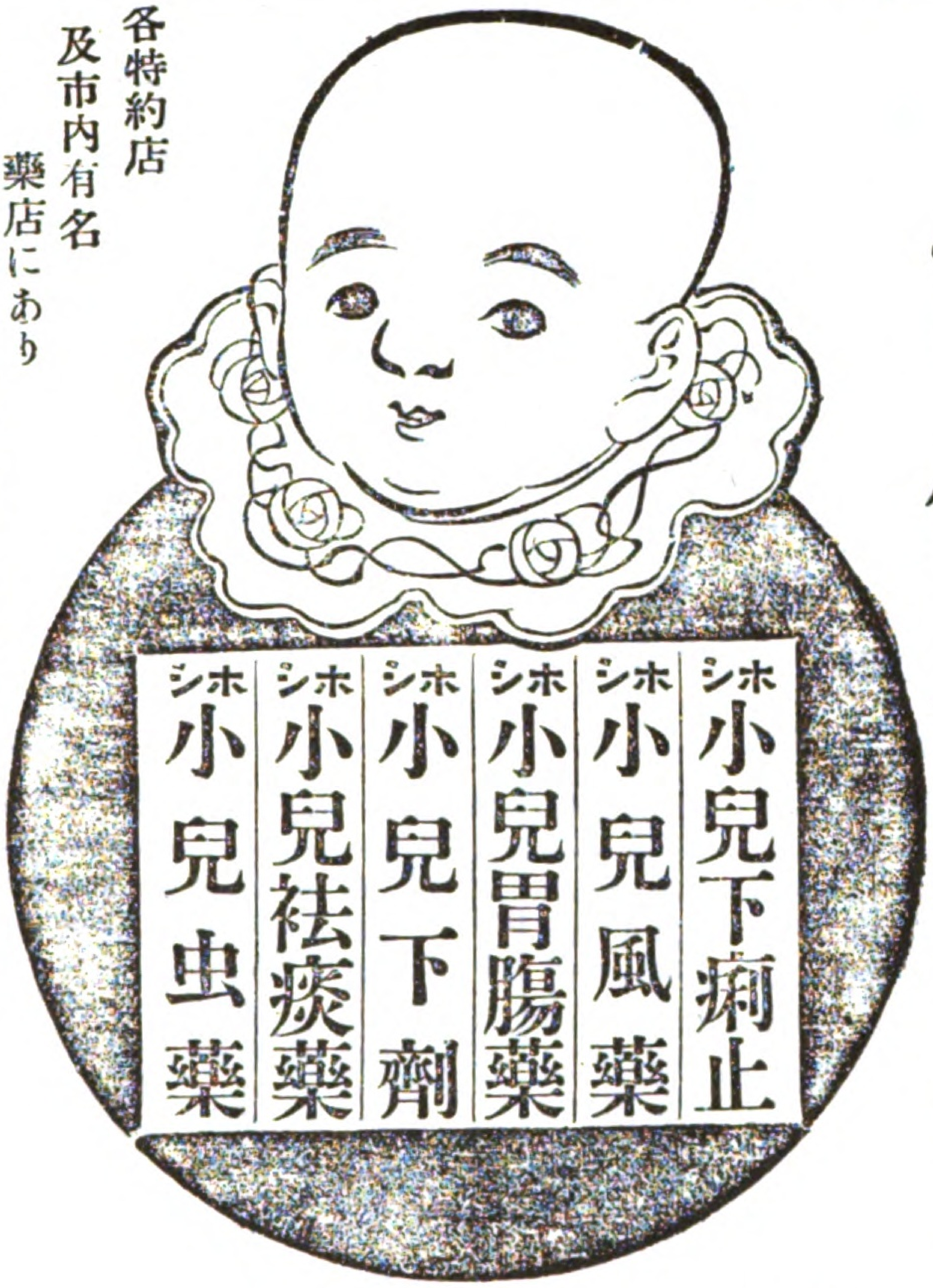
申込所
東京市四谷區坂町八十番地
大日本青年黨本部

御申込ノ拂込ハ振替ガ至極便利ナリ

振替貯金口座
東京 貳五九〇貳番

御申込の節は『新眞婦人』の廣告によると御申添を乞ふ

常備せよホシ小兒專門藥



●小兒の體質と大人のそれとは違ふから藥も大人と小兒とは區別しなければならぬ

●政府の報告を見よ、小兒は一番病氣に罹り易い又死亡率も一番多いではないか

●然るに是迄完全なる小兒專門藥のなきは政府も民間も共に遺憾とする所である

●賣藥改良の魁たる星製藥株式會社は茲に卒先して六種の小兒專門藥を發賣することになつた

●ホシのクスリは能く効く、クスリはホシに限るとの公許あり、世の親達よ明日と云はず本日直ちに之を求めて愛子の健全を計られよ

各美鑵入一個十錢、六種箱入六十錢、病原療法、藥用法、注意事項等を説明せる小兒醫書を添ふ

各特約店及市内有名藥店にあり

東京市麴町區有樂町三丁目一番地

改築中 假事務所

星製藥株式會社

電話新橋二二三三番、振替東京二〇五二二番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あらうが、之れが其の凡てであるとは云へない。且つ今日まで性慾に關したことを、たゞ口にし筆にするのは最も恥づべきことであるとのみ考へて、生理的から云つても、倫理的若しくば社會的の見地から見ても、眞面目な大切な問題であるべきものを、嚴格に考へなかつたのは稱讃すべきことではない、今後は或程度までは眞面目に又公けに此の問題を研究さしても特別男女の關係を惡くし、社會の秩序を紊すが如きことがないであらう。

西洋に於て之れまで男女が一切皮膚を見せず、一切性慾に關する話をせなかつたのは、一種の美風なれど此の習慣は恐らくば未だ充分に開けない頃は、人々の性慾の衝動が强烈であつたので、性慾の話をしたり、又異性の肉體を見せては强度の慾望を生じて社會の秩序を紊るものがある所から出來たものであつて、時代の進步と共に改めねばならぬものである、今後の進步した社會に於ては、例ひ異性の皮膚を見ても、又眞面目に性慾の問題を論じても、特に秩序を紊る程に肉感を徵發することなくして濟むに至るであらう。

現に我國に於ては、異性の膚を見ること珍らしからず、之れを日本人は西洋人の樣に有り得べからざることとは考へて居ない。卽ち維新の前までは中流以下のものは、皆な男女混浴して居たのであるが、其の爲めに別に今日よりも弊害が多かつたと云ふことがない。之れと同じことであつて、將來は性慾の問題を眞面目に研究することを別に恥づべきこととも怪しむべきこととも考へぬに至るであらう。

併し余が此の言を爲すのは、之れを是認して今の社會で直ちに實行せよと云ふのではない、凡ての事が調和して進まねばならぬから他と釣合を取らずに、獨り性慾の問題のみが解放せらるゝ場合には非常な弊害がある。されば現在に於て此の問題を取扱ふものは、最もデリケートの問題として、充分細心の注意と警戒とを要するのである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男女分業論（婦人と戰爭）

（オリブ・シュライネル女史の『婦人と勞働』紹介の五）

高野重三

第一回に於てシュライネル女史の傳記と其著『婦人と勞働』の大體とを紹介し、第二回、第三回、第四回に於て其の著の第一章、二章、三章を秦げる婦人寄生論の梗概を紹介したが、今回は其の第四章たる男女分業論を紹介しやうと思ふ。我國にても識者と稱する人士の内には男女自ら異る所ろあるが故に其採る職務も自ら異らざるを得ず譬へば男子は世間に出でて活動し婦人は家庭にありて家を整へれば可なりと論ずる人數多あり斯かる分業論は歐米に於ても行れると見えて女史は本章に於て之れを詳論してあるのである。

社會がダン／＼變つて行くから、婦人も物質的或は智的の新らしき勞働に服せねばならぬ。若し之れをなさゝれば只だ性慾的の職務にのみ服して、自然寄生的生活に入らねばならぬこととなる。而して性慾的の職務にばかり婦人が賴ると云ふことになると、自然外の技量を働かすと云ふことがなくなるから、何時の間にか外の技量は萎縮して了ふ、論者は假りに之を承認する。婦人の進化が止まつた場合には、全人類の進化も從つて止まることも承認する、又人間の勞働が次第に力役を去て益々智的勞働になつて行くことと、手足の働きの代りに完全な機械の這入て來ることも承認するソレから又進歩したる社會で婦人を寄生的生活より救ふのには、新らしき物質的或は智的働きに堪ゆる丈けの訓練を婦人に與へねばならぬことも承認する。此等を皆な承認するとしても、併し尚ほ『男女の業に何にかソレを種類によりて分つの要なきか』と問ふ論者がある例へば昔、戰爭と獵とが男子の仕事であつて其他は婦人の仕事であつた樣に、今日でも女の仕事は、小供を生むと云ふことの外に、農業紡織、商賣、家庭の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

働き、小供の敎育、及び醫療の事などをし、男は形而上の學問、立法、戰爭、其他政治の事などする樣に其業務を公平に分つことの出來ないものであらうかと云ふ疑問を發する者がある。唯一見したる所では、之は如何にも理窟にも常識にも叶ひ、過去に於ける人類進化の道行とも合つて居る樣にも見える。併しながら嚴密に試驗して見ると、ソレはたゞに學理に合て居ないのみならず、實際にも合て居ない、又現今の社會狀態にも適合して居ない。

成程原始時代に於ては、男子は戰爭と獵とに就事し女は農業、家庭の仕事育兒等に、就事すると云ふ風に、判然區別されて居た、而かもソレは其の當時の社會には甘く適合して居たもので其の間に少しも不自然な所がなかつた、從てかゝる男女の分業によりて人類は進歩したものである。

中部亞弗利加の西の方にアシャンチーと云ふ所があるが、其所の王樣は娘子軍を持て居るとの事である。又野蠻人の中には其の酋長が女である事もある、けれども此等は例外と云はねばならぬ一般は前云つた樣な分業が行はれて居た。今日假りに文明國の男子、婦人及び子供の一團が、或沙漠で丸裸體になつて、其の身體を保護するものとては一物もなく、又外部の文明國と一切交通することの出來ぬ場合ありとせば、矢張り古代に於てと同じ樣に、男子は石だの棒だのを武器として、猛獸を狩つたり、他の種族と爭ふたりし、婦人は小供を哺育したり、男子の獲物として持ち歸つた肉を料理したり、家を建てたり、草根木皮を求めて醫藥を拵へたり、或は有用な植物を培養したりするに至るに相違ない。而してサウ云ふ社會に於ては寄生的婦人は一人でも有り得ない、若し惰ける者あらば、誰れも之れを相手にしないからソレが女であらうと男であらうと餓死するより外はないことになるであらう。所がダン／＼と其の境遇が續く中に野獸を馴らして使ふことも覺えれば、武器も進歩して來る、ソコで以前程獵にも戰爭にも多くの人數を要しないことになつて、男の手が餘て來るから、男子が家を建てたり、農業にも

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手を出す樣にもなつて來る、從て女は純粹なる家庭の働きをすれば善いと云ふ所へ押込められて行く。

されども進歩した今日の社會では、斯くの如く自然的の分業を爲すと云ふ樣なことは、出來なくなつて來て居る。今日の學問の程度では、婦人の腦力を檢査して、其の腦に特種の組織あることを發見することが出來ない。例へば今は高等數學に秀でた婦人も出て來て居るが、と云つて婦人の腦力は一概に高等數學に適して居るとも云へない。同時に婦人の腦力が政治法律に適しないとも云へない、從來婦人はカウ云ふ仕事に就事することを許されなんだのであるから、實はカウ云ふ仕事に堪へられるか、堪へられぬか分らぬのである。敎育ある婦人の中には文藝へ走て小説などを書く人が多いが、併しながら女の腦と文藝との間に、別に先天的に何んの關係もあるものではない。タイプライチングをやる婦人も多いが、タイプライチングと婦人の頭腦との間に別に何等の關係もないのである。たゞ從來婦人が力を伸すには小説なりタイプライチングなどの方面が、一番抵抗がなくて伸し易かつたからで、女自身の腦力に別に特別の理由があつてゞはない。何にが女に適し、何にが男に適するかを、ホントに知らうと云ふには、男と女とを同じ境遇の下に置き、同じように奬勵し、訓練し、尙ほ同じ樣に報酬を與へて數世紀間ソレをやらして見なければならぬ。兎に角、今日に於ては別にサウ云ふ風な試驗もされて居らぬのであるから、適確に何にが男に適し、何にが女に適するかを斷定することが出來ない、寧ろ人種と人種の間に於ける相異の方が、同じ人種の男女の間に於ける相異よりも甚しい。

けれども人種間の相異にしても、其の相異が果してドレまでが先天的の相異であつて、又ドレからが其の人種に屬して居る特別の傳說敎育、乃至は境遇の相異から起つたものであるかを、學理的に定めることは殆んど不可能である。例へば猶太人の中からは、モーゼよりイザヤに至るまでの多くの豫言者の外に、キリスト、ボーロ、近世ではスピノザの樣な宗敎哲學者に至

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るまで、實に澤山に宗教家が出て居る。此等の例によると猶太人は宗教的傾向の人種とも云へるのである。世人は大抵サウ思つて居るのである。併しながら能く調べて見ると、サウ云ふ人は例外で、大多數の猶太人は宗教の何者たるかさへも知らないのである。獨乙人の中からは、バッハ、ビトウベン、モザルト、ワグネル等の樣な世界有數の音樂者が出て居る。之れによつて考ふると獨乙人は非常に音樂に長せる人種であるらしい。所が能く調べて見ると、一般の獨乙人は殆んど音樂の何者たるかを知らない。假りに數名の英人と、數名の猶太人と、及び數名の獨乙人とを一緒にして一つの殖民地を拵へ、其の殖民地では、英人は商賣に上手な人種であると云ふから、英人には商賣のみをさせて他の仕事には手を出せぬことにし、猶太人は宗教的人種だと云ふから宗教の事のみをさし、又獨乙人は音樂趣味の多い人種だと云ふから獨乙人には音樂のみをさせたがよいとしたとしたらドンナ結果が現はれたであらうか、多分英人の中に宗教家があつて見たり、猶太人の中に商賣の好きな人があつて見たり、又獨逸人の中に音樂の分らぬのがあつて見たりして、其の殖民地の政策は馬鹿々々しいと云はれる樣になつて了ふに相違がない。

人種の事に適用したる上の議論は、男女兩性の間にも適用することが出來る。假りに茲に二萬人の婦人の一團體と、又二萬人の他の婦人の一團體とあるとする。而して先の一團は法律に適し、後の一團は醫術に適するとして考へて見ても、若し其の中に一人にても自分の屬せる團體の多數とは違つて、先の團體に屬しながら醫術に適する婦人ありとせば、其の婦人には醫術をやらせる方が、其の婦人の爲めは勿論、其の社會の利益でもあるまいか。要するに、個人個人別々に考へて、其の適不適を定めねばならぬのであつて、女であるが故に、適不適に係はらずお前は斯くせねばならぬ。又男であるが故に適不適に係はず君は斯くせねばならぬと定めて了つては、個人の不幸は勿論社會の損失に計り知るべからざるものがあるであらう。例へばフレー

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ベルの如き熱心な幼年敎育者を、幼年を敎育するのは婦人の爲すべきことである、然かるに君は男である、故に君は幼年敎育に就事することが出來ないと云ふ樣な論法で、フレーベルを幼年敎育に關係せしめなんだとしたら、今日の幼年敎育の損害は如何に大なるものであつたであらうか。印度人は野外運動に適せぬとのことである、けれども其中から一二世界有數な野外運動者の出ないとも限らぬから、印度人は野外運動をすることが出來ないと云ふ法律を拵へられては困る。婦人も亦た同樣で若し其婦人に何か其職務に耐へざる有機的の缺點ありとせば法律にて之れに從事する事を禁ずるよりも其缺點が之をやめしむるには有効である。若し一萬人中たゞの一人でも、其の團體の人々と別な仕事に適した人があつたとしたら、其人には他に構はず其人に適せる仕事をさせてはドウであるか。天然自然と云ふものは誠に公平な審判者である、男女何れにもせよ、自分に適する事をせば榮へ自分に適せぬ仕事をするものは退けらるゝ迄である假りに小犬を一匹前の川へ投げ込む、ソレが泳いだとするよろしい、沈んだとするソレでも構はぬ。併しながら投げ込みもしないで首に繩を付け其の繩の端に煉瓦を結び付けて置いて之れは沈むから投込んではイケないと云ふのは甚だ以て無理ではないか。故に吾々婦人は、立法者の椅子、政治家の室、商賣人の事務所、科學者の實驗室、乃至は天文學者の天文臺、其他有りと有らゆる業務、何にでも自ら適する業務に一應は就事して見たいのである。吾等の前に閉されたる戸のないことを希望する。吾々は凡ての働きを吾々の範圍としての上で、天然自然の公平な審判を受けて見たい。

婦人と戰爭

斯く論じて來ると、最も極端な例を引ひてさらば婦人は男子のみが常に從事して居る戰爭にまでも參加せんと欲するかと問ふものもあるであらう。私は之れに答へて、然かり其の方面に於ては特に就事して見たいと思ふと云ひたい。古代に於て吾々が耕した所の田畑

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だの、家屋だのが戰爭によりて荒されたのみならず、戰の大將ともなりて働きしこともあり、近世では看護婦となつて負傷者を介抱もする又戰爭に出るものを剛まし、戰爭の結果としての苦しみにも堪へ忍んで來たのであるからに、吾々婦人と戰爭との關係は甚だ親密である。昔から男子は弓も矢も、刀も鎗も拵へて敵を亡すことに忙はしくして來たが、吾々婦人は殺し殺さる丶人間を拵へて來て居る。戰爭に最も大事な兵士を製造するものは吾々婦人である、如何なる戰場に於ても人を殺し、又殺さる丶人間が婦人によりて製造されぬことはなかつたのである。吾々は戰爭に對しては一番貴重なものを拵へて來たのである。

婦人は實に男子が戰場で注ぐよりも大なる血を注ぎ、男子が戰によりて苦しむよりも餘計な苦しみに堪へ、又男子が長き進軍を續けるよりも大なる疲勞を以て其の兵士を生んだのである。而かも文明國の統計によれば、戰場で死する男子の數よりも、出産の際に死ぬ婦人の數の方が餘計である。

小供を生む女でも生まない女でも、子が生れる前には十ケ月の間苦しみ、又生む時には死の苦しみを爲し、倘ほ生んだ後も、十數年の間之れを育てるのに苦しんだ其の小供が今日瞑目して戰場に横はり、其の唇は紫色に變じ、其の足は棒の如くなつて倒れて居る、恐らくは來年生へる草花の肥料になるの外はないのを見て、どうして非常な感動を起さないで居られうぞ。戰場に倒れ居れる兵士を見てソレは何んでもないと云ふ婦人が何所にありましようや。故に婦人をして政治外交のことに當らしめたらば、國際の紛議を處決するに決して斯かる野蠻な手段に出でしめぬであらう。

何にも婦人が戰爭を厭がると云ふのは、勇氣が缺けてるからではない。如何なる戰場で如何に大なる勇氣を示した兵卒でも、恐らくば婦人の苦しみに堪へ、又死に對する勇氣に優つて居るとは云へない。婦人も一度び劍を持て立てば男子と同樣に戰ふことが出來るのである。斯く云ふと、中には婦人の體力恐らくば戰爭に堪へられまいと云ふものもあるであらう。成程昔の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

様に大きな斧や刀などを振り廻はしての白兵戰ならば堪へられぬかも知れぬ。併し今日の如くマキシム其他の速射砲で戰ふのならば婦人も戰爭が出來る、戰爭に堪ゆる婦人は獨り佛蘭西の百姓の娘（ジャンダーク）のみならんやである。若し不幸にして歐洲諸國が俄かに戰爭を止めることが出來ぬとせば、婦人は戰爭に關する財政のこと、後方勤務のことなどに服して男子以上の働きが爲せるかも知れぬ、婦人が斯く働きて男子が後の心配なく戰場に出られゝばドンナにソレが其國の強味となるでしようか。

併しながら男子と共に戰爭しても負けないから、戰爭にも參加したいと云ふのではない。婦人は戰爭を爲し、戰爭で殺さるゝ兵士を死の苦しみを爲して生んだのであるから、戰爭を止めたいのが其の中心よりの希望である。例へば敵軍に圍まれたる町で、町の隅々に拵へてある棚の一が、敵彈で其の一部を毀されたとする。此の場合町の人々は何んでも持て來てソコを修繕せんと努め、中には道傍に立てゝある何にか彫刻のある石でも持て來るであらう。其の時に其の彫刻した石をサウ云ふことに用ゆるのを拒むものは、恐らくば此の彫刻に心血を注いだ彫刻師一人のみであらう。彼にとりては彫刻にドレ丈け精神が這入て居るか分らぬのであるからソレは尤である。丁度其の樣に婦人も生命をかけて拵へた小供を國際間の紛議から起つた戰爭の穴へ入れることを欲せぬのである。されば若しも婦人に政治外交のことも男子と共に爲すの權利を與へたならば、國際間の戰爭、僅かの人の野心の爲めの戰爭は直ちに止められて了ふことであらう。繰り返して云ふ、戰爭なるものは婦人をして男子と同じ樣に政治上の事に關係さす其の時に至りて始めて止むのであると。

▲此の間或席上で、藝術座なぞモウ古いと云ふ話が出た。スルト早稻田の高田學長が笑て、ソレでは素人が一番新しいワケになりますと云つて、皆なをアツと云はせたサウです。

▲素人と云ふので思ひ出したが、此の間白木屋の二階で役者の書いた繪の展覽會があつた。素人の芝居、素人の繪畫、今は妙に素人の持てる世の中であります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

從順の德

伊藤證信

▲近頃女子問題が盛んになつて來て、從來の所謂女德が懷疑の渦中に投げ入れられるやうになつた。これは悲しむべき事のやうで、實は甚だ喜ばしいことであると思ひます。

▲今の世の人々の中には、道德の破壞せられるのを喜んで居るやうな男女が、往々見受けられますが、私が女德の疑はれ出したのを見て、甚だ喜ばしいと云ふのは、此等の世人に附和して、道德の破壞するのを喜ぶと云ふのではありません。私は道德が破壞されるなど云ふ事は、どうしても信ずることが出來ません。道德は益々進歩し發達するものであると云ふことを信じないでは居られません。間違つた道德卽ち不道德は段々毀たれ頽たれて行くものでありませうが、眞の道德は種々の機會に遭遇して、益々發揮せられ向上するものであると云ふことを確信して居ます。だから、從來の女德なるものが、疑はれ呪はれ研究せらるゝに付けても、これが益々眞の女德の進歩向上する徑路であると云ふ事を思うて、滿腔の喜悦を感ぜざるを得ぬ次第であります。

▲從順と云ふ事は、從來女德の中の最も主要なるものとせられて居たが、近頃は大に世人から其價値を疑はれるやうになつて來た私は大にそれを疑つて見るがよいと思ふ。けれども、疑つて疑つて疑ひぬいた揚句には、必ず眞の從順、活きた從順が、人間の心の奥底から自然に起つて來るであらうと云ふことを信じて疑はないのである。

▲從順と云ふ事は、古來女德の第一に數へてあるけれども其實單に女子の德として片付けて置くべきものでは無い。人間全體が力を極めて發揮すべき第一義の德目であると信じます。人間が天賦の靈能を發揮するに就ての唯一の道は、此從順の德にあつて存すのであります。

▲先づ科學者が自然界の法則を發見するには、是非自然界に對して從順でなくてはなりませぬ、自然界に對

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して我慢我情を募つたり、我が儘な考へを持つて居たりしては、決して自然界の法則が解る筈はありませぬ。つまり自分の先入主となつて居る我意我見をすて丶自然の有の儘の中へ自分と云ふものを投げ入れて、全くの虚心平氣になつて、自然を觀察しなくてはならぬ、さうさへすれば、自然界に行はれて居る眞理は、おのづから自分の心に映つて來るに相違ありませぬ、種々の科學的實驗や種々の科學的觀察は、皆我意我見をすて丶、自然界の事實其物に觸れる方法に過ぎないのであります。

金澤 小生恒子氏寄

▲科學の法則を應用して、種々の機械を造り、其機械を自由自在に運用する時に當つても我慢我情は何の役にも立ちませぬ。只邪魔になるばかりです。どうすれば早く其機械を自由自在に操縦することが出來るやうになるかと云ふに、自分の得手勝手をすて丶専ら機械其物に順應するにあるのです。所謂從順の德を發揮するにあるのです。自轉車を操縱するにも、飛行機を運用するにも、其秘訣は、要するに

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

機械其物の性質をよく研究して、自己の力を最もよく其機械に從順せしむるにあるだらうと思ひます。

▲自然界の法則を發見したり、機械器具を巧みに運轉するのさへも、從順の德によらなければならぬのである。况んや若し吾人が人間と交際し人間を治め人間を導き人間を育て人間を使ふて行かうとする時は、益々從順の德の必要なることを感ずるのであります。

▲親が子を育てるに當つて、子其物の性質を構はず、親自身の我儘を以てしやうとするならば、子は決して圓滿に育つものではありませぬ。世にかう云ふ親が多いから、子がうまく育たぬのである。育兒法と云ふことは種々複雜な規則があるであらうが、要は子の性質に最もよく順應すると云ふに歸するのであります。

▲最もよい敎育家と云ふのは、自分の我見我情をすて、よく子弟の心身の傾向を察して、それに隨順し順應して、子弟の發達を助ける人を云ふのであります。又最もよい政事家と云ふのは、人民の意志感情を無視して、自己の我意我情を貫かうとする人では無くして、人民の意向を察し、感情の萠す所を觀て、自分を其方へ順へて行く人を云ふのではありませんか。

▲其他宗敎家と云ふも經世家と云ふも救世主と云ふも、一として我慢我情でやれる事はありませぬ。宗敎家は人類靈性の向ふ所に順ひ、經世家救世家は世態人情の趨勢を汲みて、始めて其目的を達する事が出來るのである。

▲已上述ぶる所によつて從順の德が如何に偉大なるものであるかと云ふことが粗々解つたであらうと思ひます。然るに從順は時代後れであるとか、今からの世は從順の德はいらぬとか云ふやうな暴言を吐いて、得々として居る者があるのを見ては、實に其愚妄に呆れざるを得ない。かう云ふ愚妄の徒の云ふ事を聞いて、それに迷はされて居る者の多い世は、まことに嘆かはしきの至りである。

▲唯人は從順の假面を被つて、知らず／＼一種の我儘を働いて居る場合があるから、これは最も警めねばならぬ點である。從順は依賴ではない、從順は惑溺ではない、從順は偏頗ではない、依賴とか惑溺とか偏頗とか云ふものは、其正體は我意我情であつて、表面ちよつと從順に似て居るのである。眞の從順は最も公平で最も冷靜で、而も最も同情に充ちた心狀態である。それでこそ自然人類の眞相に達して、自然人類に於て、自由自在なることを得るのである。

▲婦人は古來從順の德が最も多いと稱せられて居る。これ婦人の尊い所以では無いか。婦人が比較的によく

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男子の心を知り同情の心に富み男子をして常に婦人を忘るゝ能はざらしめ、男子に慰籍を與へ、男子に活力を與ふることを得るは、主として婦人の此從順の德によるのではないか。されば婦人は人間の理想を最も多く實現しつゝあるものと云ふべきである。古來の聖賢が畢生の理想としてあこがれて居た從順犧牲の德を、婦人は現實の上に體得して居るでは無いか。此美德靈德を所有しながら、自らそれを知らず、知つても之を尊ばず、甚だしきはそれを捨てんことを希望し主張するに至つてはまことに、愚妄の極ではありませんか。

私は眞新婦人會の諸君が世の一切の婦人に先だつて此に眼をつけ、此美德を益々發揮し、此に附着して居る紛れ物を除去し、眞の從順の權化となられんことを望む次第であります。私共男子は從順の德に於てたしかに婦人諸氏に劣つて居ますから、あなた方を手本とし先導として、此德に進まんことを努めたいものと思つて居ります。

翠溪歌集をよむ

遺稿の紹介を致しませうと云ふ意味の手紙の返事には充分に批評もして呉れともいふとの葛原氏からの御返事であつたのだが、いつと云つてしみ／＼と批評とは云はぬ、此遺稿六百首の一つ／＼について、充分よみ返しくり返して、自分の感想を自分の心ゆく迄、述べたてやうとする、それに最もふさわしい時と云ふものが來らない。

あわたゞしい其日々々に追はれ通して行く自分が、御座なりの二三行でいゝ位ゐのことを云つて置く程ならば、寧ろ初めから何も云はないがよい、まして自分のやうに何も知らない人間が、ろく／＼讀みもしないで知つたか振りの批評等は夢にもしやうとは思はない、もしや生きて居る人ならば、あとから申譯の出來る折もあるが、故人に對して禮を缺ぐやうならば私としては忍びない。

この君は何を頼みし妻か子か、悲しけれども一卷の歌と云ふ晶子女史の序歌に對して、故人は地下からほゝえみながら、うなづいて居られるであらふ。

少しく感想を書かうとすると私の筆は又しても／＼澁つて終ふ。

私は一つでも歌らしい歌が詠める時が之から永い生涯の中にあるとするならば、其時に初めて私は誰から歌をよむ目をあけて貰つたかと云ふとも云ひ至られるけれども今の自分が、故人に對して先生呼はりをして見た處で、弟子甲斐のない弟子の腑甲斐なさの自白より外に何もない

我妹子は我がやまひをみとるべく、嫁ぎもこしや生れもこしやと瀕死の床で歌つて居られた、此歌一つで故人の人となりが窺はれる。

右遺稿は非賣品にたつて居りますが、お望みの方は實費金五拾錢に郵送料を添へて、東京市本郷區蓬萊町六番地葛原滋氏宛お申込みあれ。（殘本少々あるとのことです）

みち子

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カシタンカ

チエホフ作

第五

英物！　英物！

一ケ月經つた。

カシタンカはもう今の境遇によく慣れた。每晩々々美味い食物を澤山與へられるのや、『小母さん』『小母さん』と呼ばれるのや、又見知らぬ人にも、同居の朋輩達にもよく慣れたのであつて。さうして生活は油の上を流れるやうに過ぎ行いた。

每日同じやうな日を暮して。何時も朝に一番早く目を覺すのはイワン・イワノヰチで、彼は起ると直ぐにカシタンカの『小母さん』の所か、猫の所へ行つて頸を延して何か云ひ出す、一生懸命に說諭でもするやうに云ふのであるが、矢張前と同じに譯は解らない、長いこと頭を上げたまゝで獨語してゐることが度々ある。初にカシタンカは其の叫びを聞いて思つた。多分鵞鳥は非常に智慧があるので、憖う何事か長く云ふのであらうと。然し日を經るに從つて、だん〳〵と初めの中の彼に對しての尊敬は無くなつて來た。それで鵞鳥が自分の傍に來て、例の長い演說を聞かされても、彼はもう尾も振らず、さも鵞鳥をもう度外視してゐると云ふ風でゐた、さうしてこの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

皆に眠を邪魔をする所の、あき〳〵する長い演說に彼は遠慮もなく、不作法にたゞウウウウと返事をしてゐた。

フェオドル・テモフェーキチは又一風變つてゐた。彼は目を覺しても、何の音もさせず動きもしない、眼さへ開かない、彼が生活と云ふものを愛さないやうな、その素振から考へれば、彼には寧ろ眠續けたまゝで、長く目を覺さないでゐる方が、却つて可いのであるやうに思はれる。何んにも面白からず、總に氣の乘らない厭さうな、輕蔑してゐるやうな態度でゐた。美味い食事の時でさへ、何か汚いとでも云ふやうに、プルッと頸を振つてゐた。

カシタンカは目を覺すと、まづ室々を歩き廻つて、方々の隅々の臭を嗅ぐのであつた。何處の室でも歩くことが出來るのは、一同の中でたゞ彼と猫ばかりであつた。鵞鳥にはこの權利がなく、汚れた壁紙の室の敷居を些とでも越えることは出來なかつた。又豚のハフロニヤ・イワノウナは何處か外の小舍の中にゐて、たゞ稽古の時だけ室に連れて來られるのであつた。主人は晩く目を覺して、それから茶を飲む、さうして茶が濟むと直ぐに稽古に取掛るのである。Ⅱの字形は每日室に持込まれるし、鞭も輪も持込まれる、すべて每日々々同じやうに一つことを繰返すのであつた。稽古の時間は三四時間續く、時折、フェオドル・デモフェーキチはもう疲れて醉漢のやうによろ〳〵してゐることもある。イワン・イワノキチも嘴を力なく廣げたまゝで、重く息を切つてゐることがある、主人も顏を赤くして額の汗を拭ひ切れないでゐることがある。

恁云ふやうで、カシタンカの『小母さん』には、晝は稽古も面白いし中食も樂しみであるが、さて夜になると少し寂しいのであつた。夜には主人は大抵鵞鳥と猫とを連れて、何處へか馬車で出掛るが、自分だけは小蒲團の上に眠つたまゝ一人殘される、さうすると彼はそろ〳〵退屈になつて來て、寂しく、悲しくなり出すのである…………悲しいやうな寂しさは、何時かだん〳〵に彼のそれと氣の着かない中に、もうそつと、忍び足で寄つてゝも來るかのやうに、彼の身に迫つて來る。で、遂に彼を全く占領して了ふ、恰も闇がだん〳〵に室を占領して了ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やうに。それは恁うであつた、彼がもう吠えるのも、食べるのも、室の中を走るのも、見るのでさへもいやになつて來た時に、彼の想像に何だかはつきりとしない二つの影が現れる、それが犬でもなし、又人でもなし、顏付は、懷かしく、愛すべき然も何だか譯の解らない、不思議なものなのである。で、これが現はれる時には『小母さん』は屹度、尾を振るのであつた、何だか彼には何時にか、この影を見たことがあり、又愛したことがあるやうな氣がするのである……さうして彼は眠りながら、この夢の不思議の影から、糊の臭と、鉋屑の臭と、假漆の臭とを感じたのであつた。

彼が新生活に全然慣れた時分には、彼はもう先の日の骨と皮ばかりの痩番犬ではなかつた。ずつと容貌が上つてゐた、いつも腹充分のしつかりした犬であつた。或時稽古を初める前に主人は彼を撫でて云つた。

『小母さん！　もうそろ〳〵お前も仕事を初めるのだぞ、可加減ぶらついたからなあ、奈何だ、俺はお前を俳優にしやうと思ふのだがな……貴樣は奈何だ、俳優になるのは可いか、氣に入るか？』

それより主人は彼にいろ〳〵の藝を仕込み初めた。最初に彼は後足で立つて歩くことを致へられたが、それが酷く氣に入つた。次には彼の頭の上に主人が高く釣してゐる砂糖を目懸けて、彼は後足で飛んで、取らなければならなかつた。其の次には彼は踊つたり、繩に繋がれて柱の周圍を駈け出したり、音樂につれて唸つたり、鈴を鳴らしたり、拳銃を射つたりした。一ケ月經つてから、彼はもうすつかりいろ〳〵の藝を覺べて了つて、フェオドル・テモフェーヰチが遣る『埃及のピラミッド』の業は、彼に換つて爲ることも出來るやうになつた。それのみでなく、彼は稽古を喜んで勵み、自分の成功に非常に滿足をしてゐた。舌を出しながら指揮する繩に繋がれて柱の周圍を走ることや、輪を飛ぶことや、又年寄のフェオルドル・テモフェーヰチの上に乘ることなどは、別けても彼に大いなる樂を與へたのであつた。で、このいろ〳〵の藝當を首尾よく遣り遂げる度に、彼はきやん〳〵とさも興

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奮した叫び聲で吠えるのである。敎師の主人も彼の意外の成功に矢張感心して、手を擦つてゐたのであつた。

『英物！　英物！』と、主人は叫んだ『全く巧い、お前はいまに屹度成功するぞ！』

小母さんはもうこの英物！　英物！と云ふ言を、まるで我がもののやうに耳に慣れて、主人が此の言を云ふと、自分の呼名かのやうに躍上つて、きよろ〳〵と顧みるのであつた。（未完）

瀬沼夏葉譯

新年號豫告

私共微力にして、思ふ所の十分の一も、爲すことが出來ませんでしたが、幸に第八號までは發行して來ました。來正月からは雜誌の刷新の外に、尚ほ私共の主義に從ての種々の事業を致す考へで夫れ〳〵準備をして居ります。

如何に雜誌の刷新をするかに就ては、一ち〳〵申上げないで、事實で見て頂かうと思ひますが、新年號を『夫婦號』にする計畫丈けは申しておきましよう『夫婦號』には、夫婦間の事を樣々の方面から觀察、研究して滿載する考へですが、幾人かの御夫婦の感想文をも列べて載せる考へで居ます。よく一方が死ぬと、殘された夫人が、逝きし人の事を書きますが、生きて居る中には書く方がありませぬ、私共は兩方生きて居る中に、夫が妻のことを書き、妻が夫のことを書くと云ふことは面白いと思ひます。ソレでカウ云ふことを思付いたのですから、廣く讀者諸君からも『我が夫』『我が妻』と云ふ題で、御感想の投稿を希望致します、其他新年號の異彩として高安月郊先生の筆に成りし『瀧口入道より尼へ横笛』岸邊福雄先生の『女子敎育上の鋼鐵主義』高野重三先生の『男女相異論』などを掲載致します。

新年號は紙數を增加すると共に、部數も增刷して、各方面へ配布し、明年發展の基礎を造る一段としたい所存ですから、日本婦人に新思想を注入するに御贊成の讀者諸君にも、購讀者を拵へる爲めに、勞を投じて本誌配布の御手傳ひをして下さるを希望致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御注文の節は『新眞婦人』の廣告に依ると御申添を乞ふ

男女兩性の
科學的研究

英國 バヱロツク エリス著
小倉清三郎譯

性的特徵

十二月上旬發賣

菊判全一冊
定價壹圓五十錢

男女兩性の相違は那邊まで存するものなりや。之を研究するは、社會上、教育上種々の難問題を解決するの楔子なり。故に近時歐米にありては斯學の研究頗る盛にして多くの專問學者を出す。就中其の最も著名なるを英國のエリス氏とす。氏の『男女論』の如きは實に斯學の權威なり、之を一讀するに多大の興味ありて爲に啓發せらるゝ所多く、性的相違の問題は釋然として氷解するの感あり。吾人は皆男女其の孰れにか分れ、互に異性を識り自性を知るの要あるに於て此の書實に各人の精讀を値す。

發行所 東京市麹町二丁目 丁未（ていび）出版社
振替東京七八四七

加藤咄堂先生新著

書窓車窓

天地の秘奥を探り人心の機微を明にす乃ちこゝに天籟あり地籟あり人籟ありこれによつて世界の知識を求むべくこれによつて古今の德澤に浴すべし内に在りては書窓の良師外に出でては車窓の善友一卷の書また尊貴なるかな

三六判美本
定價六十錢
郵稅八錢

加藤咄堂先生著書數種

▲筆と舌
定價七十錢
郵稅八錢

▲維摩經評註
定價七十錢
郵稅八錢

▲原人論講話
定價六十錢
郵稅八錢

▲通俗講話の論理及方法
定價九十錢
郵稅八錢

東京小石川區原町 振替東京一五六八六 丙午出版社
東京小石川區原町 振替東京一三五三番 雜聲堂

純正の主義侃諤の論麗彩の筆

世界之日本

每月一日發行　**十二月號**　定價一部十錢

各政黨の現在及其將來……文學博士　三宅雄二郎

- 政友俱樂部の特別任務……代議士　菊地武德
- 殘虐極まる日本の政治家……代議士　淺羽靖
- 後藤新平は職人の如し……某政黨領袖談

世界の大勢　政界近情　社會日誌

余も日本に對して不平あり……男爵　本野一郎

- 若い者で無くては駄目だ……代議士　小久保喜七
- 天來の謎……立憲靑年黨幹事　長橋重兵衛
- 歐洲列國の選擧法……世界之日本記者　田中雪次

選擧權擴張問題論議

先づ自己の大臣病を根絶せよ……立憲靑年黨幹事長　橋本徹馬

▲犬養、尾崎、後藤三君に與ふ

- 何れが市民の爲めか……市會議員　野々山孝吉
- 余の對電燈問題意見……市會議員　溝淵正喜
- 天下の恐論を排す……世界之日本社長　橋本徹馬

電燈問題側面觀察（其四）

この頃の人（人物月旦）……世界之日本記者　村島歸之

- 英雄と美人（漫筆）……南鄕銑也
- さらば君よ（追悼記）……長橋大河
- おでんの趣味（都會研究）……余里由紀

觀艦式（詩）　逝く秋に（歌）　煙りの匂ひ（歌）

西行法師（評論）……帝國貯蓄銀行專務取締役　關谷眞可禰

發行所　神田區仲猿樂町十七　振替東京二六八六　世界之日本社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御注文の節は『新眞婦人』の廣告によると御申添を乞ふ

家庭の寶典

再版
醫學博士永井潛先生著
生命論
菊版四百頁挿畫
アート四十餘枚
純白布製箱入
定價二圓五拾錢
送料拾二錢

五版
高島平三郎先生著
教育に應用したる兒童研究
菊版六百五十頁
總クロース金箱入
定價金二圓八拾錢
送料金拾二錢

新刊
醫學士渡邊喜三先生著
遺傳の研究
菊版三百五十頁
總クロース箱入
定價金壹圓五拾錢
送料金拾二錢

三版
高島平三郎先生著
家庭及家庭教育
菊版純白
總クロース
定價金九拾五錢
送料金拾二錢

發行所 麹町平河町五ノ三十六 振替東京二〇一九四番 洛陽堂 電話番町四二五八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

結婚問題

高橋達子

今迄に述べた結婚の種類を平たく言つて見れば、術策上權謀的結婚、金錢上算盤的結婚虛榮的娯樂結婚、人身供御的干渉結婚、曰く何、曰く何と形容詞を附したならば、頗る面白いものが出來上る事と思はれる。

更に結婚の常套語を繰り返すわけであるが實に此事たる人生の最大事件であり、生涯の新紀元なのであつて、當事者同志は正に精神の轉換期なので、此影響の及ぼすところは實に驚く可き諸種の事實となつて現れ來るのである。

然るに是れ程に大切なる結婚を輕々しく取扱ふ事に於ては、日本人程無雜作な習慣的の惰性に囚はれて、其範圍内に於て猫の子一疋貰ふ樣な考へで以て各配偶者を求める、而して其條件の一つとしては、容貌風采財産血統などに於て、意に充てば其人物性行などは措て問はない傾がある、尤も識者の間には理想的の結婚が行なはれて居るとしても、大多數は決してさうでないと斷言して憚らぬ。

其結果は果たして如何

忽ちにして出來上つた一組の夫婦は、永久に幸福であろうか、否々源淸からざればの例へ離婚といふ悲慘なる出來事は、月に日に多く明治三十年の統計で見るに、離婚數は結婚數の三割四分で、現今は一層增加をして居るといふ事である、寒心に耐へぬ出來事ではあるまいか。

然して離婚といふ事は漢字を二つ書けば其意味を現はすに充分であるとしても、それ迄に起り來つた人と人との關係精神上物質上の損耗、暗々裡に演出される悲劇の一幕、それ等を一々考へて見たならば、實に以て愈々結婚法の改善を謀り、世は之れに依りて一大幸運を開拓し得るの域に進み度いものである。結婚の式上でお互に幾久敷、相變りませず、と結び合つた其祝詞をして効果あらしむる事に於ては、誰人と雖も異

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

存はない筈なのである。

更に一層深く考へを練つて見ろと、離婚數の夥多なるを悲むのみでは皮層的であるといふ點に氣が付て來る。

俗に云ふ合せ物は離れ物、といふ世俗の卑近な諺を諒とするではないが、自己の身分や地位、又それに依りて周圍に乃ぼす出來事を思つて、慘憺たる焦熱地獄の光景を背景にして、世を冷たくはかなきものとして、日を送つて居る人が更に其幾倍なるを考へればならぬと思ふ。

結婚の暗黑面のみを窺つたバイロン詩人は叫んで曰く、女は天使なり、されど結婚は惡魔なり、と

道德の根本は男女關係に始まり、男女關係は夫婦が其基礎となるのは今更説明の必要もないのである、更に夫婦關係の美しき礎は可成的完全なる結婚によりて始まるのである。

然らば如何なる結婚を以てか、完全なる理想的の結婚と言ふ事が出來るかといへば、殘念ながら目下それを斷言する事は出來ない、けれども今後の結婚は、當事者間にも今迄の如く習慣に依るものでなく、意義あるもので深く〳〵人生問題の根柢から割り出した、確固不拔なものでなくてはならぬ、浮萍の樣な一時間の考へを持つては絶對的に駄目だと丈は言ひ得る事を信ずる次第である。即ち社會の後繼者である青年男女、未來の社會を組織する貴重なる責任を有する人達は、此重大なる問題を輕視してはならぬと言ふのである。

現代婦人の良人觀

理想に近き結婚を得ねばならぬ事は前記の通りであるが、現代の婦人は果して如何なる結婚を以て、滿足なるものと思つて居るのであらう、如何なる良人觀を其ハートにゑがいて居るのであらうか、少し此點を研究して見たいと思ふ。

先日某知名の士の演説を聞た事がある、其人曰く、日本位女價の低廉な國は無いと、

即それは女の精神的の重味……といふ點を指されたものと自分は解釋して居る。

日本の女は學校を出れば直ちにお嫁に行く可きものと考へて居る、社會でも淺果ながら簡單に左樣の考へを持して居る、然るに世の文化は駸々として進み、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生活難の叫びは高くなつて來る、家庭を作り妻を養ふ可く責任を感ずる男子は容易に結婚せんとして爲す能はず、茲に於て選擇者被選擇者の別が出來る算術上の答へが出る云々……

或は一面の眞理であるかもしれぬと思ふのである、今迄の日本の女は只々從ふといふ二字を婦人の金科玉條と心得て居たのであつてそれは卽ミリタリズム、武士道的家庭敎訓の餘弊だと斷言して居る。

中江兆民居士がかつて。

西洋婦人の眼は生きたる人の目にして、日本婦人の眼は死人の眼の如し。

といつたのも正に此意味に於て眞理ではあるまいか、自から進んで物事に預り、且つそれを判斷するといふ事は不可能の事である、否左樣な事は婦德を害する行爲として敎へられぬのみならず大に訓戒されて居た。

女大學の七去の條などはよろしく女を盲目にして、精神的痲醉劑を飲めと强迫した樣なものといはねばならぬ。

私は自分の言ふ可き事が傍道へ外れた事を謝して、再び現代の婦人の良人觀を批評せねばならぬのであつた、皮層の觀察當らざるの論であるかもしれぬ事を先づ斷つて置く必要があるかもしれぬ。

當今一般の女性、比較的或意味に於て社交的世才にたけたる、藝者輩を除いた若き女は如何なる男子を好むであろう。空想虚榮の夢路を歩む的の女は必らず思ふであろう。

卽我良人は眉目秀麗なる好男子ならざるべからず、然も出來得可くんば品行方正學力優等、などの肩書あるが嬉しく家庭內常に握手接吻の香り高く、月の夕花の晨我手を曳きての散策に天晴れ文明的紳士のタイプを供へらるゝ方こそ望ましけれ。

然して尚且つ三越白木の賣出しには細君同伴にて、財布の底をはたき借自動車にもたま〳〵は同乘して、帝劇あたりにも姿を現はし度し、果して此の如き輕々しき良人觀を爲して居た處女が假りに茲にありとして、結婚の曉を考へて見るならば思ひ半ばに過るであらう、樂しと畫いた空想は浮世の風に容易に吹き荒らさるゝのではあるまいか、比較的無責任な處女生活よりして、實際に觸れたる現實の生活に入る婦人は、もつと〳〵賢こくもつと〳〵堅實なる思想を抱いて居らねば駄目である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前述の如く細君の持參金、或は細君の生家の御陰によりて處世の第一歩を踏み得る樣なへぼ男子と、此の如き風船玉の如き婦人とは誠に好一對の馬鹿者であつて、やがて眞面目な社會から蹴落される人物である事は申迄もないのである。

今茲に並べる事は不快な樣にも思はれるが普通の婦人意外、即特種部落の女達の良人觀は更に〱赤裸々なる物質主義、沒節操的のものである事を考へて見たいと思ふ。

氏なくして玉の輿を願うてふ事は彼等仲間が常に不動樣や、稻荷大明神に誓願を立てる第一條件なのである。

女學生上りや普通の婦人は其虚榮の欲望といつてもまだ〱許す可く天眞爛漫な點が無きにしも非らずであるとしても、此種の女達は墮落の上に墮落を重れ、只々自己の容貌と陰部とを生活の中心として立つて居るのである。

かるが故に彼等が良人を得る手段は非人道的であつて、とても尋常一樣の方法で無い事を知られねばならぬ、それ故彼等は只黄金崇拜であつて、其欲望に應じ得る人ならば、其人物性行なんぞは問ふの必要更になく、立所に其關係が成立し、所謂金の切目が縁の切れ目的の冷酷なる行爲をして、世間に害毒を流しつゝあるのは被ふ可からざる事實であつて。

家には極端なる武士的家庭教育によりて泥人形の如くに飾られた夫人空閨を守り、今日社會に於て名士と目さるゝ人士でありながら彼の賣品的婦人の許に馬鹿を盡し。更に社會は何等の制裁も加へぬといふ頗る奇しき現象を呈しつゝあるのは事實であつて、今日新聞の三面記事といふ小さい窓よりして窺ひ得る幾多人世の慘風悲雨の世路日記が、飽きもせず彼等不所存なる男女の手に依りて編成されつゝあるのである。

良人觀は決して机上の論でなく實際の問題である、忽せに爲す可からざるものである、故に良人觀は人生の根柢から考へたる眞面目なるものでなくてはならぬ、輕跳浮薄時流の濁水を呑み、物質美に眩惑されずして、動かざる變らざる確き堅き信念の上から打算すべきものと思ふ、更に省みて自己の精神の修養と實力の充實と、淸くして溫き感情敏くして正しき智識、確固不拔の强固なる意志を修練する事を忘れての議論ならば、三枚一錢の呼賣りの新聞記事の論説を我物顔に說明するのと少しも變りは無い、私は大に此點を思つて背汗に堪へぬのだ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

愁人

座古愛子

晴れたか、と思ふと、また叢々と薄雲が懸かつて、六疊の小座敷に映す日影が、明かるくなつたり、暗くなつたりする。或る日の午後私の病床を見舞ふたのは一病婦人と、その御案内の一學生とでありました。初對面の挨拶が濟みますと、軈て學生は一ト膝乘り出して、

御近著『みつばさの陰』が、何れ程私の慰藉になつたか知れません。著者の前で這麼事をいひますと、何んだか追從輕薄のやうですが、決してさうぢやありません。殊に附錄の『光鹽日誌』ですね。彼の二百二十一頁の「我れ我が兄弟には旅人の如く、我が母の子には外人の如くなれり」。と『詩篇』の聖句が引いてありましたのが、沁み〴〵自分の思ひその儘の嘆聲だと、同感の念禁じ得なかつたのであります

功成り、名遂げるのが孝の終はりなら、自分もその終はりを見て戴きたかつたのに、父は早世しましてまだヨチ〳〵の、アンヨが上手とまでも行かない赤兒の私を、而も白晝生き馬の眼を拔くといふ東都に殘して、筑紫の極てに身罷つたのであります。その頃は母もあり、兄弟も在つたのですが、自分を識つて呉れるものは唯父一人でありました。その父に逝かれては、何んの爲の苦學であるか、馬鹿らしくなつて、茫然自失して、私は何んの元氣もない、脫け殼のやうになつて仕舞ひました。猶ほ不幸はそれに止まらず、私の骨肉は次第に死んで、何んの杖柱もなく、淚の谷を一人トボ〳〵彷徨ふ旅人となつたのであります。嗚呼それを今思うても淚の種ですから最う止しませう、幸と今は不思議に、神の導きに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

よりまして幼稚な信仰を提げて、御當地の神學校に入學して居るのであります、軈て牧會の任に當たる事となりましたら、また色々と六ケしい事も生じて來ませうし、基督の御旨を行へるかを思ひ廻らしますと、實に戰慄かるゝのであります。信仰も心も弱い、つまらない人間でありますが、專心修養を積んで不幸な人の涙の友となりたい願ひであります。實はけふ聖書の難解の個處に付て、牧師傳道師でもない、平信徒たる貴女に承けたまはりたいと思つて、參つたのであります、綱島梁川氏は聖書中で好まぬ所は、宮潔めの所と、無花果を詛ふ所との記事であるといはれたさうですが、貴女の解釋も聞かして頂きたいのであります、併し先刻から、私一人で饒舌つて居りまして、この御婦人の事も申し上げませんから、今日はチト遠慮して居ります。呵々。

この御婦人は、遠い所の方であります。壹岐の人であります。そして御主人は朝鮮に居られますが、御病氣の爲に一人止どまつて、須磨で長く養生して居られましたが、目下は私の神學校の附近くに御靜養して居られます。この方も相憐むの情から、『光盤日誌』が非常に慰藉になつたさうで、是非一度お目に懸かつて、お禮が申し上げたいとの事で、御同道致しましたのであります。

と語り終はられた時、御婦人は一寸頭を下げて、代理になつて御自分の事を、大略申して下された青年への禮か、私への挨拶か、兩方を兼ねた辭儀一トツの後は、唯沈默して、御自分の膝の上を諦視めて居り、打り〱チラと私に目を注がるゝ態は、深い憂悶に胸を閉ざゝれて居られるらしく、流行物の單衣と、紗の一重羽織に包まれた病體の、痩せ細つて初秋の風にも堪へぬやうな有り樣、年齡は三十歲位と思しく、蒼白い細面の顏の、頰肉削げて、鼻は高くなり、眼は落ち凹んで、潤みを帶びたのは、何時も涙に濡れる證據か。その涙の玉を宿す長い睫と、濃い眉とが、著しく目立つて、陰氣で憐れで、物凄いやうでありました。拙著『みつばさの陰』中『光盤日誌』が、殊に慰藉となつた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

といへば、問はでも知れた肺病患者でありませう。噫肺病！ 私には肺病の友は澤山あります。遂近頃永眠せられた一婦人も、未見の友でありましたが、その御良人が大連に在らせられた時、雇い婆アや唯一人を便りに、須磨病院に入院中、御良人の御親族から、病妻を棄てゝ、他の婦人を娶れと勸められたので、遂にその氣になり、病妻を離縁する事となつて居たのを、その友人が面を犯して意見をしたので、漸く離縁丈は助かつたのであつたが、妻といふのは有名無實、親しく病床を訪ふて慰めるといふ事はなく、常にその婦人は薄命に泣きつゝも、猶良人を慕ひつゝ、哀れな最後を遂げて仕舞つたのでありました。今私の前に座してゐられるこの御婦人は、確く口を緘ぢて何も語られぬから、何んとも判斷は出來ぬが、若しやさういふ薄命な方ではあるまいか、若しさうとすれば、故長加部光鹽氏の『日誌』は、何れ程慰藉になたかと、思へば、才子多病の身は早世して、表面の活動は出來なかつたかも知れぬが、書き遺されし筆の跡は、永遠の大事業、無窮の大活動をして居るのであると、深き感慨に打たれて、私も沈思默考、偉大な靈感に觸れたやうに思ひました。餘りの痛ましさに、慰むる言葉もなく、學生と語り共に祈りました。

恁くて日足の急ぎ去るのに氣付いた學生は、沈默の婦人を促して、辭し去らるゝのであります。パラ〳〵と秋雨の十雫ばかり音立てゝ、無花果の葉を鳴らす時足音靜かに歩み去る婦人の横顔に、ポッと木の葉の色が映つて、恰も枯れ尾花の中からでも脱け出て來た秋野の精かと思ふばかりでありました。この時私の頰にもハラ〳〵と掛かるものがありました。(大正二年十一月四日夜稿)

●投稿募集　未婚の男女諸君より「理想の我が夫」「理想の我が妻」と云ふ短文を募集します。
〆切は十二月十日で、長さは一行廿四字詰、卅六行までです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女人國記（二）

新眞婦人社編

二　鹿兒島の女

◎鹿兒島の風俗は豐公征韓の役の時に武士が皆な渡韓して、女ばかりの家が增えた所から一時大に紊れたが征韓の役が了つて後、藩の心ある人々が非常に熱心に、風俗を善良と爲すことに盡力したので、ダン〳〵善良となつた。否反動で今度は餘り男女の關係が嚴格に成り過ぎた。

◎其後、德川時代になつてから、藩主重豪公は、薩摩武士の餘りに武骨不作法で、江戸へ連れて來ても、他藩の武士と交際さすことの出來ないのに閉口し、薩摩武士を今少し味あるものにしたいと云ふ所存から、鹿兒島に青樓を拵へた、所が又柔の方へ行き過ぎて了つて鹿兒島の風俗が大に紊れた、程々に行くと云ふことは實に六つかしいものである。

◎斯く又風俗の紊れたことを慨して出て來たのが德田邕興先生である。先生は彼の山縣大貳の門人で、鹿兒島に於て合傳流武學を主唱した人である。先生は單に女色を禁ずることの行ひ難きを察し、婦人に對しては嚴ならしむると共に、男色は寧ろ之れを獎勵した。其後鹿兒島に於ては、息子の男色の相手が其の家へ遊びに來ると、其の家の母は之れに御馳走をしてやつたものぢやサウである。

◎さて拔道を拵へて置いてのことであるから、男女の關係に就ては極端に喧ましく云つた。武士にして遊女町へ通ふものあれば、直ちに其の仲間から絕交された茶屋酒を飲んだ武士は直ちに懲戒された。未婚の男子は途中で女に會つても口をきくな、縱ひ其の女が自分

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の從妹であつても、挨拶一つをしてはならぬと命せられた。同時に女は、客のある時はわざ〲呼ばれぬと室へ這入ることが出來ず、娘時代に於ての如きは、芝居見に行くことの出來ないのは勿論、買物に行くことも、花見に行くことすらも禁せられて、若しも何某家の娘が母につれられて花見に行つたとすれば、忽ち其の娘の評判が惡くなつたものぢやサウである。斯く外出は殆んど禁せられて、婦人は終日、炊事、裁縫等の勞働に服し、夜は『女今川』『女四書』等をのみ讀み聞かされたものであたとのことだ。

◎而して結婚の場合なども、當人同士は其の晩まで顏をさへ知ることが出來ぬのであつた。ソレで居て結婚の式が濟むと、女はソレより永久に其の夫に對しての絕對服從を强いられ、我が生んだ子にさへ、何々ドンと、ドン(殿)づけにせなければならなかつたのである。

◎之れ程までに嚴重であつたから、鹿兒島では、武士は何れも品行方正、家庭は極めて純潔なものであつた從て此の時代には鹿兒島武士の家庭から偉い人物が出たものであつた、けれども鹿兒島では如何にも品行方正な武士も、江戸へ出て來ると、忽ち自由を得たる感じが生じてかソツト花柳の巷に遊び、國へ歸ると知らぬ顏して居たものぢやサウである。

◎殊に幕末、天下が騷がしくなるにつれ、藩を脫して京都に集まつた浪人、後ちに維新の元勳となつた人々の如きは、全く身に自由のある所から、不知不識、自己本然の感情に任せて遊ぶ樣になり、大に其の品行が紊れた。此の不品行な浪人が、政府の上に立つ樣になつたのであるから、明治の初年に於ける日本の風俗は大變に紊れたのである。

◎明治になつてからも、鹿兒島を動かぬ武士の家庭は依然として嚴格なものであつたが、ダン〲其の考へが緩んで來て風俗が紊れ出し、殊に第七高等學校が出來て、多くの青年が良家に素人下宿をする樣になつてからは、其の風俗は甚しく紊れて、人をして鹿兒島女の貞操位當てにならぬものはないと、云はしむるに至つた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◎但し以上は武士の家庭に就ての話で、鹿兒島の市民町民の女の品行、之れは昔から大に紊れて居たものぢやソウである。

◎薩摩は日本の南端丈けに、他國に於けるよりも、性慾の問題の取扱ひ方が、薩摩人元氣の消長に大關係をして居るやうであるが、モウ一つ薩摩人元氣の消長に關係せるものがある、外でもない酒である。舊幕時代に於ては薩摩では女は四十を越すまで酒を飲むことが殆んど許されて居なかつたので、父が縦ひドンナに飲酒しても母の飲酒せぬ所から、健全なる小供を生むと云ふことの上に、タイした差支が生じなかつたが、維新後はボツ〱と其の風が廢れて、女も酒を飲み出し、男女共に大酒するに至つたので、忽ち其の惡結果が現はれ始めた。

◎統計の示す所によると、鹿兒島縣は馬鹿と狂氣の多いことに於て日本一である。男女の關係の大に紊れて居ることと、男女共に大酒することとが其の重なる原因であることは申すまでもない。

◎私は斯く申し來りて、永い年月の間、斯程まで嚴格にして來ても、一度び制裁が緩むと忽ち水の低きに付くが如くなるに驚き、實に性慾は恐ろしいものであるとの感深からさるを得ぬ、ソレとも鹿兒島人は、他國人よりも此の點が猛烈で別に人種研究の上から論せなくてはならぬ點もあるのであらうか。

◎私は又、性慾の上に克己の行はるゝと否とは、其の國民の元氣の消長と其の子孫の健不健に大關係あることを思はざるを止ぬ。

▲記者は此の文を草するに就き田中鐵軒氏の談話に負ふ所が多い記して同君の好意を謝す。

▲鹿兒島の女に就ては尚ほ言ひたいことがあるが、今回は紙面の都合で總論丈けにした。

▲女人國記の材料御寄贈下されんことを讀者諸君に希望する。

▲今年の秋から野菊が流行り出し、立派な菊の一鉢が十錢位で、野菊の一鉢が二十五錢もする樣になりました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

是？非？

玉露女

赤坂のとある歯科醫の待合室に四五人の客ありて己が番を待ちつゝありき、誰も語らず、靜かに新聞雜誌など開き見るのみ、折々外を通る電車の響のはるかに聞ゆると診察室にて電氣を掛らる音のみが靜けさを破る後は再びもとの如く音もなし。

と突然

「一寸其灰皿を取つてくれませんか」

一人の紳士は其ハイカラによそほへる洋服の右手をつと出して卓近く腰かけたる婦人に命じぬ。

婦人は讀みさしたる太陽を膝に乘せたまゝ靜かに

「どうぞ御遠慮なく御自身にお取り遊ばして…………」

とのみまた音もなく太陽を讀む。

傍への人々は呆れ顔に、其紳士は眼いからして婦人をにらみしが手荒く灰皿を取りて己が傍らに持ち來る

見向きもせぬ彼の婦人銘仙の綿入に朱子の帶したるが、あはれ鬢の毛一つゆるぎもせず端然たる其顏の氣高さ

憎さげに物言はむとせし紳士も其横顏を見てたゞ其まゝに――。

○

我友に嘗て相思の男ありしが熱烈なる戀を逐げむにはあまりに打算的なる父母と舊式なる家風のさまたげありて、戀はたゞ戀に止まりて失望の其男は遠く朝鮮の野に百姓となりぬ友は父母の命ずるがまゝに心に泣いて世間並の主婦となり平和の家庭の中に幾年月かを過し來りぬ

其心中を知る妾の折々

「もう丸髷に結つて御らんなさいな、い〻かげんに」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と問ひ試むる毎に

「これぱつかりは……………朝鮮への義理、私しや良人の爲めに丸髷は結はない、交際上の儀式の外は一生こうして束髪で暮すの」

とばかり美しき其人はいつも束髪にて

たま〳〵人の問ふ時は

「どうも似合はないやうな氣がして結ひつける氣がしないのです」

と去り氣なく笑ふ

ある夕其友と妾と不忍池畔をそゞろ歩きしに幼なき子供の母親にはぐれしが

母ちやん〳〵

と慘めに泣きて佇むに逢ひぬ

立止まりて顔そむけし友は

「あゝ私も子を産んで育てゝ居るけれど心の底から可愛いゝと思ふまいと覺悟してたゞ行届いた世話だけしてやつて居るけれど、こんな淋しい夕方にかう云ふものを見ると家で乳母の膝に抱かれて居るのを思ひ出してしみ〳〵情けない氣になつてたまらない。」

と涙ぐみて池の水をみつめぬ

體は夫に與へ心は戀人に與へて、しかも外見極めて平和に暮さうとする友の一生――。

○

夫の君は新橋に赤坂に名ある美妓の數々を愛して月に花に歌舞の樂しみにふけりながら、妻なる君をも極めて柔しうねむごろにもてなし給ひき。

妻なる君は賢明にして皆人の敬ふ程の美しき人なりしが、たゞ日夜つゝましう夫に仕へて睦まじう靜かなる家庭なりき。

さるに不圖したる時背の君は夫人が美しき若人の數〳〵を或は詩の道に或は美術に志すまゝに學ばせて少なからぬ費用を自からの衣類寶玉を欠きて迄其人々に費せしを知りぬ。

「惡い事でもないけれど僕に秘して呉れたのはよくない」

と人知れずなぢりぬ。

妻なる君は

「そこが男と女との違ふ處でございます。」

遊藝の道に何暗からぬ妾もうたひめとひとしなみに夫と慰む事の出來ぬ如く、夫も妻が美しき若者を仕立てゝ樂しむを知りてかれこれ云ひたまふいはれなしと、ひた秘しにかくしき。

と夫人は妾にさゝやきぬ。

かくて其手にすがりて世に立ち行く若人達の牡丹の如き百合の如きさては汚なき白梅のとそれ〳〵意中の乙女に戀して身を忘れ名譽を忘れ夫人を忘れ去時――。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八ヶ岳農場日記（三）

吉川たみ子

六月十五日　梅雨に入つたので降つたり曇つたり兎角、鬱陶敷お天氣ばかりであつたが今日は珍らしい好天氣畑の草も五月の初めに手入をしたまゝで蠶の方へかゝつて居つた間に雨のために成長して一面に青莚を敷きつめた樣になつて居る。今取つて置かねば前きになると倍も三倍も手がかゝる、ほんとうに草が憎い少しも人を休ませない廣い場面の草を丹精してやう／＼取つてしまつたと思ふとはや初めに取つた方からそろそろ顏を出して來る春の農家は草と人との戰爭である何を差し置いても今日は草取りをしませうと子供を連れ出して草取りにかゝる。

見渡す限り一面の新綠に白い卯の花が今を盛りと咲き亂れて居る眞紅の地梨の花は地面に固着して咲いて居り蝶や蜂は羽音床しく飛び舞つて居る周圍の小山も赤白黃紫色々の夏草にいろどられて美しい。

　　花染めの衣つけたり夏の山

と口ずさんだ蒼天を戴き新鮮の空氣に浴し自然の物を友として勞働にいそしむなどの愉快は飽食暖衣安逸を事として居らるゝ都會の貴婦人令孃の夢にも味ひ得ざる幸福と感謝した人の往來少きこの山奥もけふこの頃は山人の通行しげき大賑ひである。この麓の村々では肥料のため青草と木の芽を澤山刈り込んで田へうなひ込むのであるこれは土を肥し柔ぐるに唯一の肥料で此邊の農家が八ヶ岳から蒙むる賜ものである。此季節になると主も女も子供も十五才位から以上は一家殘らず草刈りに出てしまふ農婦の菅笠被ぶりて手甲脚絆に身を固めたる甲斐々々しき姿はほんとうに好きだこんな男女が多い程國家富强の基礎は固いのだと心底から

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の尊敬をさゝげた。
近頃は都會の文明が誤解的に田舍へ這入つて勞働を賤しみ都會生活にあこがるゝ人が年々多くなる少し敎育を受けたり學問をしたりした人は村落には居なくなつてしまつて、土地に殘つて鋤鍬を取る者は無學文盲の者ばかりといふやうな風になつて農業の改良も行はれず新事業も更に起らない農村は日一日と衰退する女子も其通りで少し敎育を受けるともう都會の貴婦人を理想として繁忙な農家の生活を厭ふてしまふ國家の前途寒心すべき傾向ではないかと思ふ。私は敎育あり主義抱負に富んだ女子が今此山で働いて居るやうな生活に甘んずる時代を希望する、郵便が來たこんな山奥でも文明の恩澤文通は自由に出來る脚夫が茶を飮んで居る暇に披き讀んで急ぎの分は直ぐに認めて返信するのが例である知らぬ女子からこんな書面が來た。

前略先日の御演說に感動いたしたる私御主義に基づき如何なる勞働にても甘んじおつとめ申べく候まゝ何卒御召し使ひ下されたく近日参上御目もじの上詳細申上ぐべく候かしこ

手蹟といひ文辭といひなか〳〵立派で女學校卒業位ではないらしいこんな立派な婦人が私の主義に賛成して來て呉るとは實に嬉しいと直に返事を認て出した。

不意に蜂が分れる〳〵と子供がさけぶ見れば飼育の蜜蜂が巢箱からがん〳〵と出て中空一面に渦巻いて居る蜜蜂は此農場の副業として盛んに飼育して居る此頃分封の時期で天氣さへ好ければ大てい二つ三つは分封する空は一面の蜂である實に壯觀だ一同で見張りをつけて居る王蜂が出た蜂群は一勢に尾行して往つた先發隊は大きな梨の樹を幾回りもして居る此處だ〳〵と子供がいふ二三頭止まつたと思ふとだん〳〵上へ〳〵と集まつて女王を中心に一團の蜂の群は集合してしまつた私は箱を持つて來たもう慣れて居るので手袋も何もなしに手に掬ひて靜かに箱の中へ入れる十四計り入れると女王が見えた手早く摘み入れてしまつたまだ樹には半分以上も殘つて居るけれども、女王さへ入れておけば他の蜂は皆這入つてしまふ箱の出入口を明けて置いて家へはいつた夕方蜂の靜まつた時に適當の場處に据ゑるのである。

夕方に一人の女子が上つて來た道案内に村の者が伴いてふさ〳〵した髮を流行のマガレットに結ひて色の白い口元のしまつた珍らしい美人、衣服は質素なれど、ものごし恰好此邊には見なれぬ上品な淑女、今日の手紙の主らしい。まあ、よく、こんな山中へ、どうぞこちらへと招じ入れた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ハアデング氏と語る

十一月九日午後一時より、神田和强樂堂で開いた、本社の講演會へ、來遊中の米人ハアデング氏も來て居られたが、氏は其の翌日本社を訪問せられた。其の節、小原氏の通譯で、氏と西川夫婦との間に取り交はされた問答中の數節を左に記して、諸君に御紹介します。

(問)日本では、ドンナに學問、識見あり、理想抱負ある婦人でも、モウ三十近くになつて來ると、狼狽して結婚の相手を探がし始め、相當な相手見つからぬと次第に標準を下げて相手を探がし、非常に進歩主義な女が、イヤと云ふ程保守的な男と結婚して、而かも幸福に暮らして居るから可笑しい。又日本の男子は、議論では非常に進歩して居る人でも、感情では非常に保守的で、古い型の所謂柔順な婦人とでないと結婚しない米國なんかにもソンナ奇現象がありますでしようか。

(答)英米では、大抵、自由主義者は自由主義者同士で結婚するから、ソンナことはありません、と云つて、ハアデング氏は非常に笑はれた。

(問)今、日本人の中には、米國では既に婦人の跋扈に苦しみ、之れからは女の自由を制限しなければならぬと云うて居るのに、今頃日本で婦人に自由を與へよ、撰擧權を與へよ、なぞと云ふのは間違うて居ると云ふものが多くあるが、米國人は今、眞に婦人に自由を與へ過ぎたことを後悔して居るのですか。

(答)米國の婦人が非常に神經質になつて、ものを一つ云ふにもガミ〳〵云ふのが事實で、之れには困つてます、又金のある人は慈善に浮身をやつし過ぎて、出てばかり歩き、家庭を少しも治めません。けれどもソンナ婦人は寧ろ保守主義な女の中に多いので、一定の主義ある進歩的な婦人の家庭は仲々に善く治まつて居ま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す。米國人の困つて居る女と、米國の撰擧權でも要求して居る進歩的な婦人とを混同しては不可けません。日本人の中にはソレを混同して居る人が、多い樣ですなあ。

(問)トルストイの小說などで見ますと、露西亞の男女の間は、非常に紊れて居るかの如く思はれるが、實際御視察になつて、サウでしようか(ハアデング氏は露西亞を通つて日本へ來られたのである。)

(答)トルストイの其の小說は、四十年ばかりも前に書かれたものでしよう。今ではソンナことはありません一體露西亞と英國が一番男女交際の自由な國なのですが、此の二國の靑年の品行が一番よいです。獨佛では男女交際が自由でないから、靑年の惡所通ひが多いやうです。佛蘭西は殊にヒドイです。

日本人の中には、佛蘭西の紊れて居ることと男女交際の自由とを結び付けて、佛蘭西は男女交際の自由な國なるが故に、不品行なのだやと思うて居るものが多いが、私はハアデングさんの右の言を其人達に讀んで貰いたくてタマリません。

(問)貴君は支那にも六ケ月も居られたと聞きますが、支那の婦人は、壓迫されて外へは出ぬが、家庭では大威張りおやサウで、時には男を叱りつけてると云ふぢやありませんか。

(答)支那の男は一日外で働き、夜は又遊びに行く、婦人は之れに反し一日家にばかり居るのですから、ヒステリーにもならうぢやありませんか。ソレに支那の女は何んにも知らぬが一度思ひ立つと却々頑强です。革命の時なぞ支那の內地を廻はつて、婦人に金の指輪などを出させ、三百萬弗も軍用金を集めた婦人があります。戰爭に出て彈丸が頭髮の上をかすり、其所丈け禿げて居る婦人もあります。日本の婦人を支那婦人に比べると、日本の婦人の方が柔順な樣です。從て日本の婦人の方が變り易い樣です、惡く變ると大變だが、善く變ると變り易いのが反て長所です、善く變へるには婦人をして男子同樣に勉强せしめねばならぬ。どうせ之れからは變るのであるが、棄て置くと惡く變る、善く變へるには婦人の眼界を廣くせねばなりませぬ。

ハアデング氏は支那に六ケ月居て、覺へたと云うて、晝飯に蕎麥を出したら、箸で食べて歸へられた。氏は米國から英國に渡り歐羅巴を漫遊して露西亞から支那、支那から日本に來り、之れから米國へ歸ろのです歸つたら本社へ米國の婦人雜誌を送ろと云はれた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

現代獨逸文藝叢書

土の力、肉の力
靈の努力も遂に境界の壓迫を脫却し得ざるか、
過去、現在未來に超絶せる戀の力も、猶ほ理智を盲目たらしむる能はざ
る近代性格の運命如何、
斯壇の巨匠が此現實を如何に描寫して、如何に大胆に、如何に科學的、
に文明と社會とを解剖せるかを見よ、

橋本青雨譯

ハウプトマン
傑作集第一卷

日の出前

序論
ハウプトマン評傳

津田青楓氏裝幀
菊判美裝函入天金
全一冊・特價金壹圓
郵税金十二錢

イブセンを失つた現代文壇の最大巨人は何といつても**ハウプトマン**で
『日の出前』は其處女作である。
『日の出前』は獨乙新興文藝の曙光である。
『日の出前』は獨乙「自由舞臺」に歴史的意義を與へた唯一の紀念品である。
『日の出前』は自然主義的鄕土藝術の典型である。

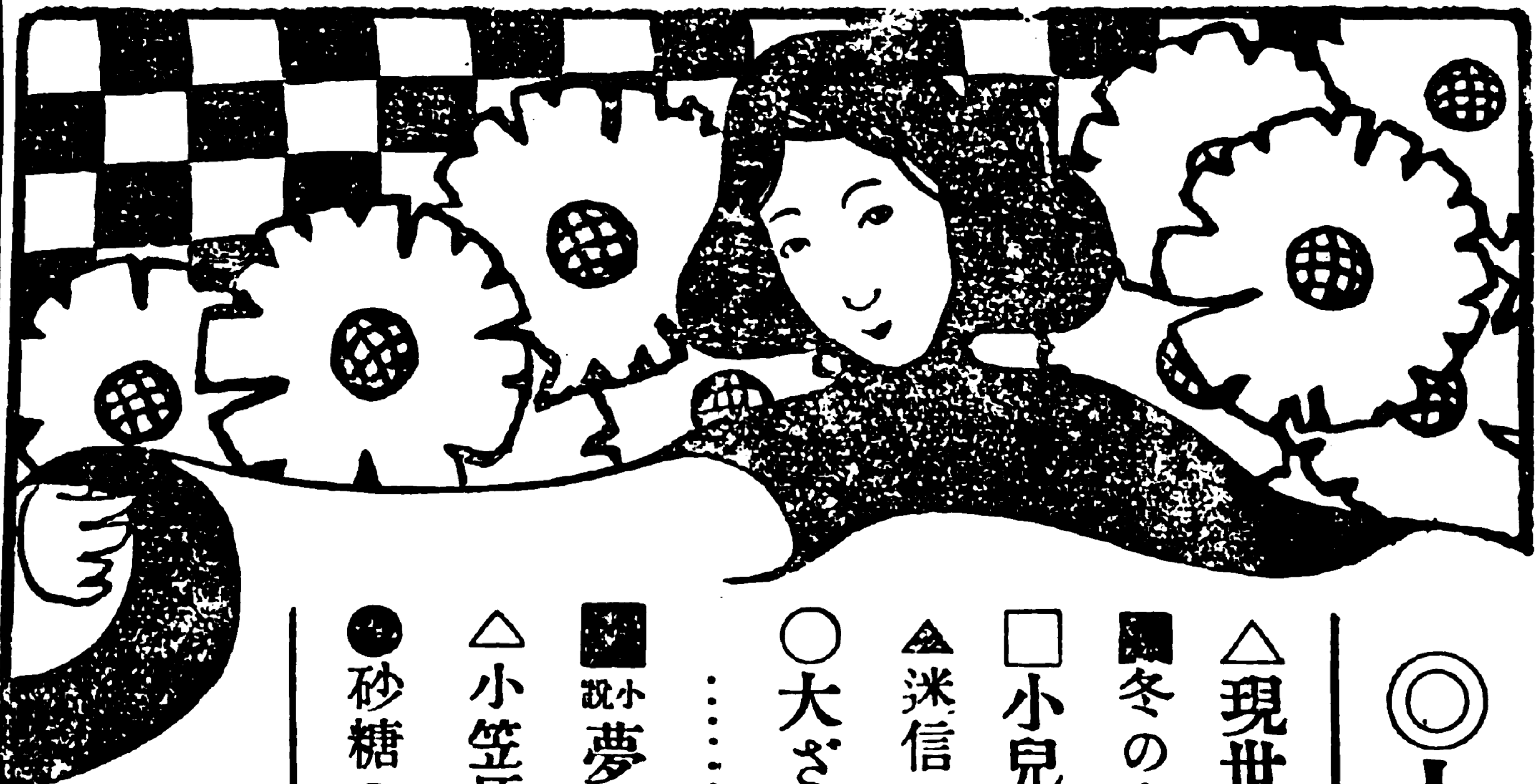
ある譯著は唯藝術的良心に訴へて出來得る限りの長い深い努力を之
に捧げた、

東京市本鄕區湯島切通
電話下谷一三三〇番
振替口座一四九番

南江堂

京都市三條通寺町東入ル
電話中二七六二番
振替口座大阪一一五〇五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



◎大正婦女社會

十二月一日發行號目次

△現世の主婦……鳩山春子
■冬の衛生……吉岡彌生子
□小兒と果物……榊醫學博士
▲迷信を去れよ　加藤文學博士
○大ざつぱを去れよ……上杉法學博士
■小說 夢の松風……竹內蘆笛
△小笠原島奇談……阿部資滿
●砂糖の話……岩淵理學士
○忠實なる少交換手……棟居東部遞信局長
○通信小話……安田麹町局長
年末の感……村上文學士
桃太郎の話……村上文學士
△寢覺の床と木曾風俗……村上文學士
△農村道德……村上文學士
△變裝視察記……女記者
△養父母に虐待されし美人の成功……本人の話

定價

壹冊　郵稅共　金拾錢
半年分六冊郵稅共　前金六拾錢
一年分十二冊郵稅共　前金壹圓
切手代用一割增

見本を要求あるも御送金無き向へは送本致さず候

發行所　東京市麹町區下二番町七〇　大正婦女社　振替口座東京二〇五九九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理學博士　鶴田賢次先生御證明

不思議のちゝ瓶

健兒ヲ發育セント欲スル方ハ
此ノ保溫哺乳器ヲ御用ヒアレ

定價一具　金壹圓八拾錢

送料		
	內地	拾五錢
	臺樺	貳拾五錢
	滿韓	參拾五錢

發賣元

東京市淺草區南元町廿五番地

在原留三郎

電話下谷七百六拾番　振替東京四一六〇番

大住嘯風氏新著

新思想論

函入美裝四百十頁
正價金壹圓貳拾錢
郵送料六錢

著者の眞價は知る人ぞ知る、敢て多言を要せざるべし。本書の輕重は左の大要に依りて斷せられんことを望む。

目次大要

△近世科學と哲學思想
△日本思想史の中心
△我が精神文明
△哲人と我
△過渡期の悲哀
△現代思想の煩悶
△思想は何處に行く
△誤れる自我思想
△自我の否定
△自我の背景
△思想の統一とは何ぞ
△人生價値の標準
△物質より精神へ
△現象より象徴へ
△人生醇化の努力
△活ける人生
△生命の表徴

△突進の理想
△獨創文明の憧憬
△典型か獨斷か
△個性か社會か
△內に索めよ
△究竟原因と過程
△紙製倫理
△倫理學者の責務
△古き倫理逝けり
△天下醒めたり
△新らしきもの〻價値
△適者か不適者か
△社會問題の討究
△理想なき政治家
△餘裕なき民衆
△一般民衆の力
△一步に破る

△國民萎靡せるか
△怯れたる鳩
△怯者の集合
△慾望と資力
△悖德狂を如何する
△生活難と産兒防遏
△農村青年の娛樂
△婦人問題の將來
△文學批判の機關
△中央亞細亞學
△全亞細亞主義
△東洋研究の氣運
△平和の優勝者
△國民精神の基礎
◎佛陀を圍繞せる女性

—完—

文集 落栗

袖珍函入美裝
正價金六拾錢
郵送料六錢

著者は專ら思索の人、言論の人とのみ思ひきや、造詣深き心の奧には斯の如き詩情の溢る〻あり。序に曰く、

年ごろ書き捨てし心の落葉かきあつめて、ふと落栗の兩三顆を得たるはなつかし、敢て人に薦むるに足らんや、獨り自ら之を掌に玩ばんとて

大正二年霜月　嘯風

と、何ぞ夫れ謙遜に過ぎたる、此落栗の兩三顆こそは世にも得がたき珍果なるをや、吾は普く同好の士に味はゝれんことを冀ふ。

內容

◎涅槃の夕
△立春
△春淺き
△春闌
△初夏の愁
△京の夏
△京の三日
△第一の印象
△熱殺闍梨
△百萬塔
△堀
◎納骨

—完—

發行所　東京市本郷區本郷四丁目四十三番地
陸東出版社
電話下谷四九四一番
振替東京一七七二五番

私の理想

有田しづ

世界の大勢を見渡してみると最早や武力の戰ではなく智識の競爭時代である、自分達は女ながらもやはり智識の競爭場裡にあつて生活し活動して行かねばならぬ、世の中が進むに從つて女も相當に進んで行かねば平均がとれぬ譯になる、女が自己を自覺して來た今日如何なる方面に向つても男相當に自己の輝を發揮せねばならぬ。束縛なく自由に振舞うて始めて自己の天才も、技能も現はすことが出來るのである。只だ箱入娘の樣に内にばかり置いて社會に出したことがないと何處が好いか惡いかわからなくなつて仕舞ふのである、今迄の樣に下らぬ方則に囚はれ弱い者のために造られた道德の元にやうやく今日まで生のびて來た樣な人達に何うしても社會の複雜な事がわからふ筈がない夫を失うた若い寡婦が子供の世話やら社會との交際一家の整理やらを見事にして退けた時、世の人は賞讚し、美談の一として數へてるではないか、夫を失うた妻が任務擴張の必要を認めて其任務を擴張するのと、孤立時代より世界的大競爭時代に入つた事を自覺して女の任務を擴張せんとする今日の新しい女の希望との間に、何んの相異があらうか、全く同一の動機によるものではありませんか、私は女子の覺醒を呼んで新時代の新任務を女子の手に納めむとする者である。此處で最も注意すべき事は彼の寡婦が家を整理するに當つては第一に義務と云ふことと子供の將來を思ふ慈愛の心とから、其の活動の力を得て居るらしい、其の働きに見るべきものあるは、其の動機の尊いからである。然るに女子の覺醒を呼び女子を啓發するを己が任なりとせる樣な人の中にも社會に對する功名心とか或は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

虚榮心からする人が往々あるので、遂に男子側からは、女に何が出來るものかと云ふ冷笑を受けるのである。

東洋には孟母と言ふ語があるが「泰西には、銅像の後には賢母あり」と云ふ諺がある、男が何んなに偉いと威つたつて、やつぱり女の胎内から生れたものである、時の今古を問はず、場處の東西を論せず、偉人傑士を造り出すには是非とも堅實なる母によらねばならぬのである、時勢の變遷と伴うて女子の活動地も擴がつて來る今日、優しいばかりが女の能ではない、決して優柔不斷にして過ぐ可きものではない私は啻に家庭に於てのみならず社會的に女子の憤起を促したいのである。

處が今日の女子は何であらうか、社會的はさておき一家の處理だに出來ぬ者が多いではないか、内は一家を治むる能はず、社會に於ては殆ど存在をだに認められないではないか。只だ從順をのみ事として居るが、此の從順たるや兩虎相爭ふ時は共に生くべからずの理を解し、且は秩序を守る上より、主從の關係を保つ爲めのものであるならまだしもの事だが、無能である爲めに從順を傘にかぶるなら、それは盲從である、若しソウとすれば彼の牛馬が農夫や馭者の爲めに鞭韃せられてるのと同一だと思ふ。家族の圓滿と云ふことも女の無能より出たものであるなら、決して永持のする圓滿ではあるまい、相手方なる男の心を了解するだけ又それに融和させて行く程の者でなからねばならぬ、それで第一番に女の實力を養はなければならぬ、實力ある處には尊敬が當然來るのである。

處で實力とは決して四肢を動かす力とか、種々な技能とかを言ふのではない、私の言ふのは目下の時代に適合する形式を具備する處の精神を意味するのである明治時代を過ぎ大正時代に入て益々女子の職務は社會的の發展を爲して來たが、併し之を以て女權擴張の目的を達し得たりとは考へない、私は尚ほ女子は精神的大發展をなし、溫良なる形式を備ふる處の女丈夫となつて、家庭及社會に於て男に向つて精神的の敎鞭を取り男子の行爲の監督を爲したいのである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

處女の心

齋藤模子

若い心の敗滅、若い情緒の凋落、此二句を、口すさびながら、宗教的藝術と、云ふ小徑を、辿らればならんのが、私の一生であります、だから、外見、赤き血と、若き生命とが、枯れ果てた、固定的の、藝術のやうにも、見ゆるでありませうが、此中にも、己れが新しき影、新しく生きんとする生命も、宿つて居ります。

けれども、悲しい事には、不斷に、此小ぼけな頭の中で、宗教と藝術とが、衝突して居ります、而して、衝突に依つて發する、火花は、青春の日記に、苦しい、想ひ出のページを、繰り返させ、サフランの、蕋よりも侑淋しい、歴史に涙ぐませます、――斯うして、私をして、悲慘な無意義の、生存を、送らしめれば、已まぬのでありませう。少しく、新しき影を、讃美すれば、デカダンと、罵られ、些か宗教的氣分を、呼吸すれば、殘骸に依つて、生きて居ると、云はれます。

されど、私は宗教の爲なら、藝術の爲なら、社會の冷笑も、迫害も忍びます、何んな破目に會うても、此二つは捨つる事は、出來ません。若しも此二つの、氣分が、私の性格から、奪はれた、其時は、私が地上から、消え失せる日であらねばなりません。

何うしても捨てたくない、放し度く無い、赤き血と、若きライフの續く限りは。

三銀好み組合品

十二月分 豫約特價賣

素人料理箱入 金五圓(正月用)

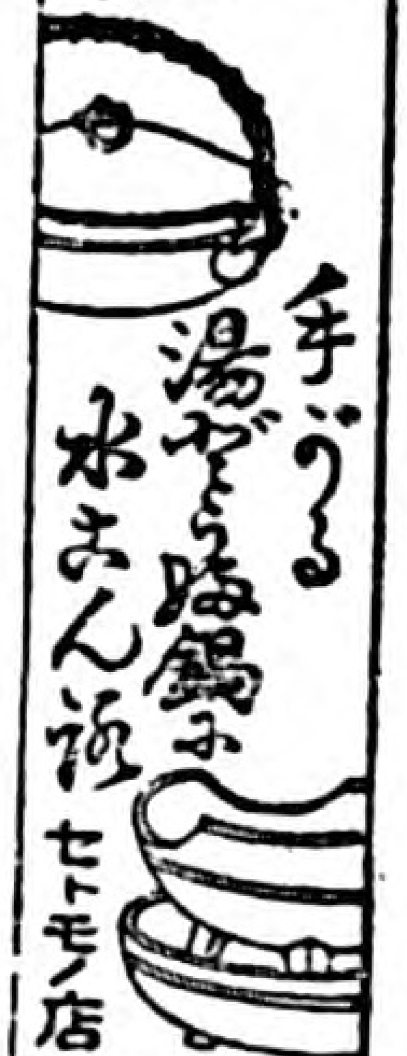
廿五個揃

一人附皿五人
向附丼五人
吸物茶碗五人
御膳茶碗五人
小皿五人

豫約內金(貳圓)
送品と
殘金三圓
十二月末

六十五錢より
一圓二十錢まで

運物用



セトモノ店
新橋
三銀

三個好の珍陶器を毎月配達致し升、壹年に(參圓)の景品が有り升から實益と興味を兼た趣向配送品は進物品に仕上て有升

○
會費
每月
金壹圓

自製陶器舗
新橋
三銀
電話一六三〇

東西南北

△河野桃乃女史より　婦人の爲め否世の爲、御盡しの御事御嬉敷候何卒おのこおみなの別ちなく人皆其隣人をいつくしむの人とならまほしき事に候

△杉浦ふで子樣より　此度思ひがけず一人上京致し候てはや一ヶ月はじめて御催ほしの會に拜聽の榮を得候親しく伺ふ御高說の紙上よりも更に深き〳〵感を覺え候、常に讀賣紙上にて御高說拜見敬服致し居候、岸邊先生の御話もなか〳〵にうれしく拜聽致候、名士の講演きくよしもなき田舍にありては如何なる手段方法にて鋼鐵的意志を養ひ得べきかに御教示ねがひ度存じ居り候ひしも、一面の識なき身にてあまりに失禮かと差ひかへ候、高野先生の御話も英語の素養なき身には亦と得がたき御話しと存じ候はる〳〵のぼり來て都の半日かつてなかりし快き時をすごし候、夕宿にかへりて思ひ出づるままをしるし候、

△高田集造氏より　只今新眞婦人第五號を讀みました。これが私の興味を以て婦人雜誌を讀み通したはじめてゞあります。苦い處もあり甘い處もあり、私の心に丁度女の樣な味でありました。男の心に苦うても甘うても、女は女として、どこまでも本性を發揮してもらひたいものだなア……と呟きつゝ卷を釋きました。兩三日中に房脊の處へ轉居します。村落通信を私からの手紙として讀んで下されば難有う存じます。（大阪柏原局區大縣山家通信社にて）

△坂本正雄氏より　昨日世界の日本からの歸りに演說をうかゞひました、會場の入口など如何にも新眞婦人會らしいのには滿足致しました。僕は何方にも御會ひ申しませなんだけれども、熱心に聽きました、會の印象は故鄉の新聞と岐阜敎育新聞と世界の日本とへ出しておきます少しでも眞摯なる婦人の主義擴張の道となるあらば幸だと存じます。今後は演說會或は研究會が益々發達して、時には靑年少年の希望など靜平のうちに物語らるゝ程の運びに到らば此の貴き運動も功を奏した事になると私は樂む者です御うちの先生皆樣によろしく、さよなら

△高橋鷹藏氏より　拙者も今後購讀して愛姉方の後援者の一人となりて感懷をも時には差上げて見ましやう、又先き〳〵は鮮婦人の事なも書いて見ましやうかと思うています。

△伊藤朝子樣より　每々御手紙有難く御禮申上ます此原稿は先日の演說の一部とかで御座います最う〳〵切になりましたかいかゞですか兎に角御送り致します

二十五日の會にアンナカレニナの評を遊ばすとの事まことに結構と存じます私も兼て讀んで見たいと存じ譯の出來ろのをまつて居た位あの本は讀みたく思つて居りました故早速本屋から取りよせたのですが何分大部のもので二十五日までによめるかどうか又論評などは思ひもよらぬ事で却つて讀んで居る内にこちらが無茶苦茶にさばかれはしないかとこわ〳〵讀んで居ます

私どもの知人で山本勇夫と申人が此間貴女樣の演說を拜聽して貴女樣に上げ樣と思つて書いたものを中途でやめて私まで送つてよこしました眞面目な人ですけれどもよく上足なところ人ですから隨分色んな事を書いて居ますいづれ又御目に掛けませう其内御目に掛つて今日はこれで失禮致します

△池內澄子樣より　先途和强學堂にてお目もじの節は一寸急ぎましたので御挨拶もせずに中座いたし失禮申上ました、講演會やら雜誌やら定めし目のまわる御忙がしさを推察申上候、御かげ樣にて每號有益にして趣味津々たる雜誌を手に致す事を得喜び限りなく候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲平澤藤子樣より　御なつかしの皆樣には益々御機嫌の御事と御悦び申上居候。先達ては誠に失禮御詫び申上ます。今日親しく御訪れ申上て種々御快談を伺ふべくたのしんで居りましたが、時間の都合あしく殘念で堪りません、いづれ御面會の折に萬々。

△小口みち子樣より　先日は貴女こそ嘸お疲れの事と存じます。然し決して無益の事にはなつて居ないことを私は知つて居ります少くも貴女の赤誠は屹度何處かに花となるべく地に下りて今や芽をふき出すで御座りませう、一事々々に私は貴女の心をお汲みして居りますよ、あの日につく／＼私はおもひました。貴女が全く獨りの身を持つて內外の事に當ると云ふ事は全く一種の冒險である、一人よい貴女の奥さんを見つけてあげなければならないと私はおもひました。

全く無いよりもましかは知れませんとおもつて、出來るだけ、貴女の目こぼしの所々を拾つて歩きたいと私は切に／＼感じます。

△小生恒子樣より　御誌每號拜見する每に御奮勵が見え誠に嬉しく思つて居ます、益々御發展のやう祈ります。別紙廣告は兄の新聞に出してもらつたのです、隨分忠實でしやう。

新刊紹介

▲女八人（松崎天民氏著）『倫落の女』は天民氏の文名を高からしめ、爾來倫落の二字が盛んに新聞雜誌の紙上に流行するに至つた程である。此の女八人も矢張り小說と雜報との中間を行く性質のもので、其の感興に滿ちた筆力は思はず一氣に讀了せしめずんば止まない。たゞに其の才筆の人を魅するものあるばかりでなく、私共は此の書より教へらるゝ所が多い（定價一圓日本橋區鐵砲町六磯部甲陽堂）

▲南米ブラジル案內（横山源之助氏著）　横山氏は親しくブラジルを見て來られた人である上に尙ほ一ち一ち專門家に糺して此の書を作られたのであるから、記事の正確なるは云ふまでもない且つ横山氏は文名ある人である丈けは此の書は頗ぶる有趣味に出來て居る。尙ほ其觀察の非凡なるとも本書の一特色と云はればならぬ（寫眞六十二入定價八十五錢、本鄕區東片町百九一南半球社）

▲細君の選び方（宮地猛男氏著）　伊太利の心理學者パオル・モンテカツツア博士の著を譯したもので、小說風の筆で細君の選び方から家庭問題全般に亘りて述べてある。譯筆流麗原著者の才筆と相俟て、樂しんで讀み以て行く中に悟得せしむる所が多い（定價四十錢東京府下北豐島郡巣鴨町大字上駒込二十內外出版協會）

▲ジャン・ダーク一代記（覓文學士編著）　歐羅巴の中では、佛蘭西は一番女性的な國であるが其の女性的な國にはチャミングな婦人が多い併し佛蘭西の女を只だ女らしい女だと思うて居たら間違ふ。平常はたゞ女らしい女に過ぎないが、一旦大事に臨みては非常な勇氣が此の女らしい女から出て來るのである。斯かる國なればこそ、ジャン・ダークやコルテーヤやローラン夫人が出たのである、此の書は此のジャン・ダークの一生を知り、合せて佛蘭西婦人の一面を知るには極めて有益な、且つ有趣味な書である（八十錢　府下巣鴨町上駒込　內外出版協會）

寄贈雜誌（每號）

△六合雜誌△大正之日本△家庭講話△第三帝國△ウオールド△讀書の友△新公論△新婦人△婦人畫報△慈善△新修養△宗教の日本△婦人評論△サンデー△世界之日本△向上△自由評論△修養世界△研精美術△婦人之友△心の花△定庭之園藝△九點△大正婦女社會△ニコ／＼△警世△新佛教△眞人△新世紀△道△道話△青年日本△經世雜誌△家庭と教育△近代思想△假面△濟平調△正教時報△スクラップ△世界雜誌△青鞜△婦女新聞

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

短歌

小口みち子選

二等

京都市下珠數東洞院西入中野方　月岡美代子

比叡山うす水いろにほの浮ける夜のあけ方をふり出づる雨

三等

京都洛東松原　福田ゆきよし

霜のふる頃より外の靜けさに落葉ふみつゝ犬のなくかな

佳作

京都　藤島露子

病院の廊下の板のつめたさのやせたる足にしみ徹る朝

別れけるすが〳〵しさにほのかなる哀愁を得て初冬に入る

船に乘り夜明に立ちぬ船宿の帳場の灯影黄に殘る町

京都　林美爾子

青海の一搖の匂ひ若人の生命ひそかに生きてありけり

そのかみの林の奥に消えやらず夜をこめて虫の啼きてあるらむ

京都　月岡美代子

ふけ行けば療病院の長廊下上草履のみひゞく悲しさ

ほのかにも霧に咲ける水鳥の聲にもほそる夕月夜かな

夕月夜河岸の柳に霧ふりぬ君をおもへば舟にひらく灯

東京　正親町ゆみ子

草にふせば悲しき事のつのり來る、草原によどむ青き日のいろ

街ゆけばわれの姿にふりかへるかの若者になみだあらすな

東京　鳥谷部みよ子

國を限る此山脈の夕陽に默せる頃はかなかなのなく

何の鳥ぞ夕空かけてとび去れり、悲しさ湧きて丘を降れば

やゝありて海邊に出でぬ松影の寂しき家のわだつみの聲

あそかなる夕陽をあびて椿散るちりし椿の麗しさかな

やぶかげに夕べとなれば小鳥なく悲しげになく夕べとなれば

京都　福田ゆきよし

ひとり居や世に亡き母のおん許に、泣きても見たき木枯ふく夜

我戀を吐息すがらに思ふとき、山路淋しうコスモスの散る

大阪　藤井夕子

別れ來てねぎの花咲く畑に立ちさめ〴〵と泣きし十七の頃

南多摩　近藤なほ子

此夕べうかりし人の面影のあはれにうかぶ旅のやどにて

靜岡　長田雪枝

黄にそみし木立にあまた小鳥來て、寒く鳴くかな初冬の頃

結城　齋藤槙子

まどろめば秋月さえてやれ窓に顔つき入れてこほろぎのなく

選者

各々の秘藏人形のみめさだめ、血の熱度など論ひ居り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

俳句

すみ子選

一等　雪空や目早き鳥の畑へ來る　京都市下京區珠數屋町烏丸東入尾張吉方　藤浪露子

二等　佛晝見に行く大寺や返り花　東京青山高樹町十四ノ一後藤方　森野英子

三等　拾ひ犬土間に啼きけり榾明り　同

佳作

張り換へて白き障子や寒椿　稲葉茂子
布團干してある窓先や寒椿　同
汐汲みのもう來ぬ濱や夕千鳥　同
松原を提灯行くや小夜千鳥　同
南受けて開く入江や冬椿　澤村圓子
影映る裸體の像の寒さかな　同
待つ春や伽羅焚きしむる柳衣　同
ほの浮ぶ隱岐の島根や小春風　片桐くみ子
古びたる蛇籠や續く蕎麥の花　同
山茶花や庫裏閑として夕日さす　同
小春日や紅木綿織つ孕み妻　森野英子
竹籔に罠仕掛けあり今朝の冬　同
鷄なくや炭燒小屋に日が當る　同
さればとて寢ても暮せず冬籠　吉原とみ子
男かと見れば頭巾の比丘尼哉　同
水鳥や魚も浮ばぬ池の寂　同
爲朝の末路を語る案山子かな　林みれ子
冬ごもり西行の歌諳むじぬ　同
寒垢離や仁王寺近き霜柱　同
烏瓜烏も喰はで眺めけり　吉波艮子
根なし雲はなれ烏や秋の暮　藤浪露子
宿屋にも死ぬ旅人や秋の暮　同

下山の日別れを惜む炬燵かな　選者

●三銀の湯豆腐なべ　新橋際美術陶器舗三銀本店製の新案湯豆腐なべは黒の柿合せぬりに二枚合せの蓋に醤油入れ猪口が落しとなり其れに穴あきのさじをつけ藤づるの手がつき極小意氣な物と同時に水焜爐をも賣り出せるが何れも座敷用として新案を凝らせしものなれば特に上流社會の需要多く大繁忙を極め居れり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十一月講演會の記

第二回講演會を十一月九日午後神田和強樂堂に開きました。同人が豫定時刻よりおくれて參りましたので早く來られた二三十名の方の中では怒つて歸られた方もあつた相です。
又新らしい女などと云つて居ながら 隨分人を馬鹿にしたわけだとお小言や忠告を聞かされました。全くこれは此方が悪かつたのですから、以後は決してこんな事のない樣に一時とか二時とか、眞銘な時を豫告しておきますから、左樣に承知下さつて皆樣もそれ迄にお出で下さい。私が藝妓論に就てお話いたしましてから、伊藤證信先生の女尊男卑と云ふ題は頗ぶる物騒な樣ですが。至極穩健なお話で、婦人の德を八ヶ條にして擧げ、婦人は理想的に發達したもので佛相、觀音相は皆婦人化されたものだと云ふ御議論でした。その一部の「從順の德」は本號に御寄稿して頂きましたが、おひ／＼又お願しようと思ひます。高野重三先生の「男女相異論」と岸邊先生の「女子教育上の鋼鐵主義」と云ふ大變有益なお講演が御座いましたが、これは新年號に掲載致します。當日は會員の方々や男子の方でも眞面目な研究家の方々が御來會になり、閉會後も暫らくお話いたしました。會員の内では井上すみ子、池内澄子、岩崎愛子、但馬つれ子、高橋里子、 有田しづ子、小口みち子、日向きむ子樣などが御見えになりました。(文)

投稿募集（每月十日〆切）

■和歌（一人五首以內） 小口みち子選

■俳句（一人五句以內） すみ子選

賞 △和歌、俳句一等五十錢、二等三十錢、三等本誌二册

新眞婦人定價表（每月一回一日發行）

一册	（郵税共）	拾壹錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意 ●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正二年十一月廿八日印刷納本
大正二年十二月一日發行

本郷區駒込林町二〇〇番地
發行兼編輯人及印刷人 西川文子

本所區香場町四番地
印刷所 凸版印刷株式會社分工場

東京市本郷區駒込林町二百番地 新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京二四五五六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顔の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尚ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區
竹川町一二
理容館
電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

腦病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長　醫學博士　石川貞吉

入院隨意

美顔療法

●にきび●そばかす●あざ●ほくろ●いぼ●顔のしみ●火傷創跡等容易に除去し得る特効藥丼に新研究の療法を敎示す●希望者は郵券三錢を添へ狀況詳細記載の上御申越を乞ふ

東京市麹町區元園町一丁目七番地

美容研究所

東京市京橋區南鍋町壹丁目四番地

ラヂウム專門療院

電話新橋參〇壹六番

院長　ドクトル従五位　渡邊鼎

月やく

月やくとまり御心配の御方又月やくの爲に御なんぎなさる御方は三錢切手封入御手紙下さい、からだに害なくよく下りる良藥祕密に御知らせ致します

東京市小石川區大原町一六

栖原のぶ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生園 産婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長 産婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

産婆部 大崎支局

皮膚病一切
たむしの妙藥

タムシン

東京市京橋區入舟町四丁目
本舗 橋本進世堂

不思議によくきくたむやけの妙藥

たむやけ根切藥

定價 廿錢 十錢 五錢

◎各藥店にあります
猿馬印に御注意あれ

本舗 東京上槇町 支那安東縣 安川晃榮堂

◎斯くしてリウマチスは全治せり

▽井筒屋藥の奇効……

リウマチスの恐るべきは一般世人の知る所である決して不治症ではない、奇効卓絶の靈藥井筒屋藥を用ひたならば、決して不治を喞こつ必要はないのである、永年醫藥を用ひて効果無かつたものが我家傳の靈劑井筒屋藥を用ひて全癒した實例は枚擧に遑はない、世の所謂新藥とか新發見奇藥とか、稱するものに惑さるゝなく、速かに我が井筒屋藥、外用劑を試用して一刻も早く其痛苦を去られ

藥價	
五日分	五十五錢
壹週分	七十五錢
貳週分	一圓四十錢
(送料四錢入用)	

東京淺草仲見世天勇横町
井筒屋油店
電話……下谷三一五番
振替口座一九六五二番

御注文の節は『新眞婦人』の廣告に依ると御申添を乞ふ

月經帶の良否鑑別法

月經帶の最良品は如何なる點にありや、曰く完全なる吸收具を備ふるにあり。吸收具を備へざる月經帶は、『越中褌』や『猿股』と撰ぶ所なし。何ぞ高金を出して買ふの要あらんや。是れ歐米婦人が『サニタリー、タヲル』と云ふ吸收具を常に手放さゞる所以也。夫れ消毒綿と雖も挿入防經の大害あるは醫家の均しく宣言する所。而して月經帶の種類多き中にて最完全なる吸收具を備ふるは獨り藤川學士の發明の『安全帶』あるのみ。以て本品が如何に衛生を重んずる貴婦人令嬢方に歡迎せらるゝかを知るべし。

本舗（東京下谷區池ノ端七軒町四二 振替東京一六九二〇番）宗全堂
本舗（大阪西區江戸堀下通三ノ三九 振替大阪一一四六一番）洋々堂分店
（右兩本舗主人 小原與三郎敬白）

定價（安全帶一筋、甲壹圓貳拾錢、乙八拾錢、並五拾錢（一筋にて永年使へ升）安全衣一打金四拾錢●送料、一組（帶衣共）金八錢、一組毎に貳錢増し、代金引替小包料廿貳錢、外國、臺灣、清、鮮、金卅錢

ね小便 近小べん

治効確認禮狀感謝狀日々來着奏効豫期以上直接來院すれば施藥規定もあり遠地又事情にて來院出來ざる方に新式ね小便根本療法書無代呈す藥品部宛ハガキ申込め

東京本所區中ノ郷元町
電話本所三三四二番
東京新療院

腦病精神病專門

東京田端
東京腦病院
院長 後藤省吾
醫學士 黑澤良臣
電話下谷二二〇二番

姙婦產婦 診察及總切に預る

神田助產所
神田產婆看護婦會本部
東京市神田區裏猿樂町六番地
電話本局一五三七番

看護婦御入用ニ應ズ
看護婦及見習募集

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ニッケル喇叭付
大改良蓄音器
都下幾十の新聞紙は筆を揃へて弊社工場の整頓完備せるを稱揚せり、其域に到達せる弊社は今や製産費の低減により破格の廉價を以て左の新蓄音器を賣出せり。其品質音聲は遙かに他を凌駕し江湖諸賢が家庭唯一の友たるべきを信ず
十七號 十七圓也
廿二號 廿二圓也
新音譜大賣出し
十一月賣出しの新音譜は〆治、奈良丸、春子太夫、桝坊主、戸山學校軍樂隊、平野源三郎の追分節澤田、横山、遠藤三氏の調和樂等何れ劣らぬ斯界の名士、聽く者をして昔日の苦を忘れしむ
音譜は御購買の數量に準じ特別割引可仕候
清國
朝鮮
日本
赤紙兩面 金二圓也
黑紙兩面 金一圓五十錢也
神奈川縣川崎町
日本蓄音器商會
電話川崎四九番
全國到る所に支店出張所あり

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正二年十一月二十八日印刷納本　大正二年十二月一日發行（毎月一日一回發行）

美味と滋養の
キリンビール
ボックヱール

洋酒　歐米各國本場　純良酒一切完備

食料品　肉類、魚類、果物の罐詰　壜詰、其他各種飲食料品

洋菓子　英國製ビスケット　チョコレット類　其他各種の珍菓

宮内省御用達

四季の好飲料（ダイヤモンド印）
レモン
オレンヂ
サイダー

洋食器　銀器、陶器　硝子器、料理用器具

化粧品及舶來煙草

商品切手　横濱本店、大阪支店、京都支店、神戸支店、門司支店、京城支店、名古屋出張所、の各本支店にて御引換申上候

東京銀座
株式會社 明治屋東京支店
電話京橋　一三九六　一三九七　一三九八　一三九九